

科目名	基礎講読		
担当教員名	平野 多恵、星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グループワークや、ロールプレイ、ディベートなどを通して、多様な社会において確かな人間関係を作り上げながら困難を乗り越えていく根本的なライフスキル、つまり「生きる力」を身に付ける授業です。一方的に講義を聴く授業ではなく、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、以下の ~ の大テーマに沿って行います。 高校生から短大生へ 短大生活の心構えやアカデミックスキルを学びます。 自己認識と自己表現、他者理解 自分を尊重すると同時に、他人を尊重する力を身につけます。お互いに理解しあう際に必要なのが「ことば」です。自分の意見を十分に表現するための日本語力も養成します。 コミュニケーション力と問題解決力 グループワークを通して、一つの問題を考えあい、問題解決の方法を探ります。コミュニケーションの間に横たわる価値観の違いを理解したうえで、話し合いを進めます。 心の成長とストレスマネジメント 自分の感情とうまくつきあい、日常生活で生じるさまざまなストレスに対処しながら心を鍛える方法を学びます。 目標設定と意志決定～未来へ向けて 自分の未来を考え、目標を設定し、最良の選択できるような力を養います。自分の頭で判断して、方向を決めるとはどういうことかを学びます。

内容

< 高校生から短大生へ >

- 1 短大生活とは？
- 2 ノートのとり方
- 3 自己マネジメント
- 4 情報の集め方・図書館の利用法
- 5 レポートの書き方

< 自己認識と自己表現、他者理解 >

- 6 私は誰？
- 7 第一印象
- 8 自分をひらく・他人を知る
- 9 聴く力
- 10 語る力
- 11 質問する力

< コミュニケーション力と問題解決 >

- 12 価値観の違い
- 13 「絵」を伝える
- 14 ディベート

< 心の成長とストレスマネジメント >

- 15 自分の感情と向き合う
- 16 言葉が人にあたえる影響
- 17 ストレスと付き合う・乗り越える

< 目標設定と意志決定～未来へ向けて >

- 18 マスメディアの罨
- 19 失敗は成功のもと
- 20 私のこれから

評価

平常の受講態度（20点）、筆記試験（40点）、学期末の提出物（40点）により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『社会人のための日本語トレーニング』エデュケーショナル・ネットワーク

科目名	日本文学史（中世・近世）		
担当教員名	教員未設定		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

中世（鎌倉・南北朝・室町時代）・近世（江戸時代）の文学の展開と各時代の精神について学びます。

日本の古典文学の多くは、当時の社会や政治の動きと密接に繋がっています。本講義では、中世と近世の文学を取り上げ、歴史的な背景と文学の関連を明らかにしながら、それぞれの文学の特色を作品に即して考えていきます。

学修目標は、次の2点です。 中世・近世文学の流れを理解する。 各文学の特色を理解する。

内容

1	中世文学の概観
2	中世文学（1）和歌
3	中世文学（2）歌論
4	中世文学（3）連歌・歌謡
5	中世文学（4）擬古物語・歴史物語
6	中世文学（5）軍記物語・おとぎ草子
7	中世文学（6）説話・随筆
8	中世文学（7）日記・紀行
9	中世文学（8）法語・五山文学・能・狂言
10	近世文学の概観
11	近世文学（1）和歌・狂歌・俳諧・川柳
12	近世文学（2）仮名草子・浮世草子・八文字屋本
13	近世文学（3）洒落本・滑稽本・人情本・草双紙
14	近世文学（4）国学・浄瑠璃・歌舞伎
15	まとめ

評価

授業中に提出する課題（20点）・平常の受講態度（10点）・ペーパーテスト（70点）により総合的に評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】内田保男・石塚秀雄編集代表『増補版・社会人のための国語百科〔カラー版〕』（大修館書店）

科目名	日本文学史（中世・近世）		
担当教員名	高野 奈未		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

中世（鎌倉・南北朝・室町時代）・近世（江戸時代）には、文化の担い手が貴族から武士へ、そして庶民へと広がっていくにつれ、散文・韻文・芸能などさまざまな文芸が展開し、それらが関係しあって、面白い作品がたくさん生まれました。この授業では、各文芸の概要や時代背景を解説したのち、代表的な作品を実際に読んでいきます。それによって、中世・近世の各文芸の特徴、描かれている文化を理解することを目指します。

内容

1	中世文学の特徴（概説）
2	中世文学（1）和歌・連歌
3	中世文学（2）軍記
4	中世文学（3）随筆・説話
5	中世文学（4）能・狂言
6	近世文学の特徴（概説）
7	近世文学（1）仮名草子
8	近世文学（2）浮世草子
9	近世文学（3）俳諧
10	近世文学（4）狂歌・川柳
11	近世文学（5）国学・和歌
12	近世文学（6）読本
13	近世文学（7）草双紙
14	近世文学（8）歌舞伎
15	まとめ

評価

中間レポート（30点）・受講態度（20点）・テスト（50％）により総合的に評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストはプリントを配布します。参考文献は授業中に適宜紹介します。

科目名	日本文学史（近現代）		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

教養として知っておきたい作家や作品を紹介しながら、それらの時代背景、メディアの仕組み、文壇形成の条件など、「文学史」を多角的に学ぶことを目的としています。

内容

1	開化期文学
2	近代化のための、さまざまなプログラム
3	（復習）
4	浪漫主義
5	日露戦後文学
6	言文一致体の確立
7	自然主義
8	日露戦争と漱石・？ 外
9	学閥と雑誌の時代
10	早稲田ジャーナリズム～大正3年を中心に～
11	映画『華の乱』
12	映画『華の乱』つづき
13	モダニズム
14	危機をはらんだ時代
15	総括

評価

平常点（50％）、学期末のペーパーテスト（50％）。合計60％以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

秋山虔・三好行雄編『ビジュアル解説 原色シグマ新日本文学史』（文英堂）ISBN4-578-91080-6

その他、毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	中世文学論		
担当教員名	平野 多恵、君嶋 亜紀		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

『徒然草』の読解を通して、日本の古典文化のおもしろさ・奥深さを学ぶ授業です。『徒然草』には、現代に通じる興味深い話題が数多く載っています。毎回それらの話題に関連して、質問形式のミニペーパーを記入してもらいます。みなさんの回答を手がかりに、兼好と自分がどのように重なり、どのように異なるのかを具体的に考えていきます。

前期は、兼好の生涯をたどりながら『徒然草』の特徴的な章段を読み進めます。後期は、兼好の愛好した和歌を通して当時の文化や美意識について学びます。

『徒然草』や和歌の魅力を理解し、古典文学を今に息づく作品として読む力を身につけます。

内容

前期 第1回 兼好法師って、どんな人？

第2・3回 なぜ兼好は引きこもったのか？ - 兼好の人生と和歌

第4回 『徒然草』って、何？

第5回 『徒然草』を読む - 序段「つれづれなるままに……」

第6回 同上 - こんな友達いたらいいのに

第7回 同上 - こんな家なら住んでみたい

第8回 同上 - がっかりすること

第9・10回 同上 - 女ってやつは…

第11回 同上 - 結婚とか子どもとか

第12回 同 - 昔はよかった

第13回 同上 - 平安貴族にあこがれて

第14回 同上 - お坊さんの秘密の話

第15回 前期まとめ

後期 第1回 導入：昔の和歌に憧れて 歌人兼好の肖像

第2回 『新古今和歌集』ってどんな歌集？

第3・4回 『新古今和歌集』を読む 王朝を再現する方法

第5回 同上 四季の美意識(1) 秋の夕暮れの歌

第6回 同上 四季の美意識(2) 春の物語的な歌

第7回 同上 和歌のリズムに注目する

第8回 同上 恋の思い(1) 待つ苦しさとは別れるつらさ

第9・10回 同上 恋の思い(2) 女の歌と女を演じる歌

第11回 同上 恋の思い(3) 恋を象徴的に詠む

第12・13回 同上 西行の歌、出家者の視点

第14回 兼好の和歌

第15回 後期まとめ

評価

平常の受講態度(10点)・授業中に提出する課題(30点)・ペーパーテスト(60点)によって、総合的に評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】稲田利徳編『校注徒然草』(和泉書院)

科目名	日本の宗教文化		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化・思想に関する専門選択科目の講義の一つです。民俗文化論、精神文化論、日本文学特講などに関連します。現在、「モノケ」という言葉は、妖怪全般をさすものとしてよく使われていますが、日本の古代においては、神霊や精霊、妖怪、魔物などはひっくるめて「モノ」と呼ばれていまさいた。万葉集では「鬼」という漢字を「モノ」と訓じてもいます。こうした超自然的存在はときに「タタリ」というかたちで、人間に災厄をもたらしたり、霊異を体験させたりしました。古代の人々はそれを畏怖し、占いや祭祀などのさまざまな手段で交渉してきたのです。この授業では古代の神話・説話・史書などのなかにあられたそうした交渉を読み解き、「モノ」たちとともに生きた人々の精神構造をさぐります。日本の古代における「もの」「もののけ」の諸相を把握し、それらを生み出した人々の精神構造を理解することが学修の目標です。

内容

- (1) もののけをめぐる文化現象
- (2) 神と妖怪
- (3) 古代の神霊観 タマ・カミ・モノ
- (4) ト占・託宣・夢 神霊世界との交信
- (5) オオモノヌシ 神婚幻想と巫女
- (6) 崇りなすアマテラス
- (7) 病気と鬼の気
- (8) 死者の霊と語り
- (9) 亀トと怪異
- (10) 自然開発と崇り
- (11) 王権・神祇官・陰陽寮
- (12) 『今昔物語集』の霊鬼たち
- (13) 鬼に化す女たち
- (14) いざなぎ流 民俗社会の占いと祈祷
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

筆記試験(またはレポート) 7割、レポート・提出物など3割、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。

参考文献：小松和彦『憑霊信仰論』(講談社学術文庫)、馬場あき子『鬼の研究』(ちくま文庫)、西郷信綱『古代人と夢

』(平凡社ライブラリー)、斎藤英喜『いざなぎ流 祭文と儀礼』(法蔵館)、岡部隆志ほか『シャーマニズムの文化学』(森話社)など。その他参考文献は授業中随時紹介します。

科目名	比較民俗論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化に関する専門選択科目の講義の一つです。民俗文化論、日本の宗教文化と関連します。

五月五日の端午の節句、十五夜のお月見などの年中行事、あるいは綱引き行事や仮面をつけた神が訪れる儀礼、あるいは納豆や餅を食べることなど、日本独自の民俗や文化と思いついておられることがありますが、実は琉球諸島や朝鮮半島、あるいは中国内陸部などにも存在することが意外に多くあります。この講義では、視野を広げて東アジア世界(環東シナ海文化)の民俗として捉え直すことで、日本の民俗や文化の成り立ちについて考えます。

日本の民俗と東アジア世界の民俗との共通性と差異性について把握し、日本の文化の複合的な成り立ちを理解することが学修の目標です。

内容

- (1) 東アジアの中の日本という視点
- (2) 日本 的なもの・ 民俗 について
- (3) 朝鮮半島・中国の民俗学事情
- (4) 年中行事の比較 端午の節句をめぐって
- (5) 月とイモ 八月十五日の民俗
- (6) 綱引き行事 八月十五日の民俗
- (7) 東アジアの綱引き行事
- (8) 東アジアの龍蛇信仰
- (9) 年越しの来訪神
- (10) 南島の訪れるカミ
- (11) ナレズシと納豆の文化
- (12) 中国少数民族と日本の古代文化
- (13) 東アジアの基層文化
- (14) 日本文化の複合的性格
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります

評価

筆記試験7割、レポート・提出物など3割、60点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。読書レポートの対象はできるだけ購入して下さい。

参考文献：佐々木高明『日本文化の基層』(日本放送出版協会)、吉田敦彦『日本神話の源流』(講談社)など。参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	現代表記		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、文章表現などの授業と関連し、文章を書く上で知っておくべき、表記の特徴について学ぶことになります。

日本語では、漢字やひらがな、カタカナ、ローマ字など、さまざまな文字を使って文章が書かれています。そこから、たとえば「開放」か「解放」か、「bed」は「ベッド」か「ベット」かなど、表記に関する様々な問題が生じてきます。これらの使い分けについて学ぶことは、日本語を使いこなす上で大切な事柄です。

講義では、現代日本語の表記におけるいろいろな問題を取りあげ、日本語の表記の特徴を理解すること、様々なことばの使い分け・書き分けについて、基礎的な理解力を身につけること、などを学修目標とします。

内容

1	日本語の表記の特徴とは
2	日本語の表記の歴史1
3	日本語の表記の歴史2
4	漢字に関する基礎知識
5	常用漢字表について
6	漢字とひらがな・カタカナとの関係
7	漢字の使い分けについて（例：「沿う」と「添う」など）
8	送り仮名について（例：「備前焼」と書くべきか「備前焼き」と書くべきか）
9	仮名遣いについて（例：「鼻血」は「はなぢ」か「はなじ」か）
10	ローマ字について（例：「東京」は「Tokyo」か「Tookyoo」か）
11	外来語について（例「ウイスキー」か「ウイスキー」か）
12	戦後の表記の変化
13	身の回りにある文字や記号について（看板、道路標識、字幕、商品ラベルなどの表記）
14	表記と校正（文章の直し方を学ぶ）
15	まとめ

評価

毎回の授業における質問用紙への記入（5×14=70点）と試験（30点）で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを配布する。

科目名	日本語の世界		
担当教員名	田鍋 桂子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目では、日本語学に関する基礎的な事柄を幅広く学んでいく。

現代日本語の中から＜音声・音韻＞＜文字・表記＞＜語彙・意味＞＜方言＞＜待遇表現＞というテーマを扱う。私たちが日常何気なく使用している日本語、また、一見間違いだと思われる日本語の中にどのような性質、規則性が潜んでいるかを考えてゆきたい。

日本語学の基本的な考え方を習得し、身の回りの日本語を観察できるようになることを目指す。

内容

- (A) 世界の中の日本語 1 ガイダンス 2 言語学の諸分野・日本語の系統と分類 3 日本語の特徴
- (B) 日本語の音声・音韻 4 音声概論 5 母音と子音 6 音節とモーラ
- (C) 日本語の文字・表記 7 文字とは何か 8 漢字 9、10 日本の漢字 11 仮名・ローマ字
12 仮名遣い・漢字問題
- (D) 日本語の語彙 13 語構成 14 語種
- (E) 前期のまとめ
- (F) 日本語の語彙 16、17 語彙調査 18 数量的特徴から見た語彙 19 基本語彙・基礎語彙
- (G) 日本語の意味 20 意味とは何か 21 多義語・類義語 22 日本語の意味体系
- (H) 日本語の位相 23 若者の言葉 24 女性の言葉 25 新方言 26 方言と共通語
- (I) 日本語の待遇表現 27 敬語の体系 28、29 談話・行動の中の配慮表現
- (J) 後期のまとめ

評価

ペーパーテスト（60点）、授業中に行う小テスト（30点）、授業態度（10点）によって評価する。

授業中の発言など学生の積極的な授業参加を求める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを配布する。

参考にすべき文献、辞書等については、授業時に紹介する。

科目名	日本語文法（古典語）		
担当教員名	稲葉 和栄		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、日本文学（特に古典文学）の授業と関係する科目で、古典を読むために必要となる、基礎的な文法知識を学ぶこととなります。

現代語と古典語を比べた場合、意味の違い（古典語で「やがて」は「すぐに」だが、現代語では「そのうち」を意味する）、活用形の違い（古典語の「高し」は現代語では「高い」が終止形）など、様々な差異が認められます。古語辞典を活用しながら、それらを学習します。

古典文法の基礎を身につけること、古語辞典の適切な使い方を理解すること、などを学修目標とします。

内容

1	古語辞典の使い方
2	古典語における品詞
3	名詞（「山」「川」など）と代名詞（「これ」「それ」など）
4	動詞（「咲く」「消ゆ」など）について
5	形容詞（「高し」など）、形容動詞（「確か」など）について
6	副詞（「やうやう」など）、連体詞（「ある」など）について
7	接続詞（「すなはち」など）、感動詞（「あな」など）について
8	助動詞（「けり」「ず」など）
9	古典語の中の敬語
10	総合問題（「竹取物語」をテキストとして使用）
11	総合問題（同上）
12	総合問題（同上）
13	総合問題（同上）
14	総合問題（同上）
15	まとめ

評価

毎回の小テスト（5×14=70点）と試験（30点）で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを配布する。

科目名	日本語文法（現代語）		
担当教員名	稲葉 和栄		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、文章表現論や日本語の世界などの授業と関連し、日本語文法の基礎を学ぶこととなります。

日本で生まれ育った人にとって、日本語は使いこなせて当たり前のように思われるかもしれませんが、留学生や子どもから、日本語について質問された場合、それにうまく答えることができる知識をもっているでしょうか。たとえば、「友だちにあう」と「友だちとあう」はどちらも言えるが、「事故にあう」とは言っても「事故とあう」とは普通言いません。また、「札幌で遊ぶ」と「札幌を遊ぶ」という場合では、どのような違いがあるでしょうか。このような使い分けは、日本語の助詞の問題であり、文法の授業を通してこのようなことを理解することが求められます。

授業では、品詞や活用など、日本語文法に関わる基本的な事柄について学習し、ことばを客観的にながめる能力の習得をめざします。

内容

1	文法のイントロダクション（品詞と活用）
2	品詞のいろいろ（名詞と動詞、動詞と形容詞）
3	品詞のいろいろ（形容詞と形容動詞、形容動詞と名詞）
4	そのほかの品詞（連体詞、接続詞、副詞、助動詞）
5	格助詞（例：「～へ」と「～に」の違い、「～に住む」「～で暮らす」の「に」「で」など）
6	格助詞（例：「クマとあう」「クマにあう」の「と」「に」など）
7	活用（動詞の種類と動詞の「～ます」の形）
8	活用（動詞の「～ない」の形 [例：「書かない」「聞かない」など]）
9	活用（可能の表現 [例：「見れる」は誤用で「見られる」が正しいか、など]）
10	ボイス（受け身文について [例：「～になぐられる」か「～によってなぐられるか」など]）
11	ボイス（使役文について [例：「～に遊ばせる」か「～を遊ばせる」か、など]）
12	人称（「ぼく」「私」など人称をあらわすことば）
13	人称（命令文、平叙文、質問文）
14	人称（「あげる」「くれる」「もらう」について）
15	まとめ

評価

毎回の授業における質問用紙への記入（5×14=70点）と試験（30点）により、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

野田尚史『はじめての人の日本語文法』くろしお出版、2200円

科目名	俳句入門		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現在、日本のHAIKUは国際ハイクといって、世界の50か国以上で、魅力的な短詩型文学として、各国の言語で作られている。私たちも、新座の自然のなかで、現代の俳句をのびやかに創作してゆきたい。

授業では、最初の数時間で正岡子規以来の明治時代以降の近代俳句の歴史を簡単に学ぶ。また、子規と夏目漱石の交友についても触れたい。

句会のやり方をマスターしてゆく。また、連句も巻いてみたい。最終的には、十文字の国文の伝統的な句集である「武蔵野集」という作品集にまとめたい。みずみずしく豊かな感性で今を俳句に表現したい。

内容

1	<はじめに> 芥川龍之介『文芸的なあまりに文芸的な』
2	エリオット『詩における三つの声』
3	<近代俳句の歴史> 正岡子規(漱石との交友)
4	<現代の女流俳人> 黛まどか『B面の恋』
5	句会
6	句会
7	句会
8	句会
9	句会
10	句会
11	句会
12	<連句の解説>
13	連句会
14	<GO句会>(学外あるいは学内)
15	まとめ

評価

句会における平常点(20点)、俳句作品(80点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】山本健吉『季寄せ』(文芸春秋社)

【推薦書】東聖子編『BARROCO集』(「連句概説」あり、文學の森)

科目名	宝塚研究		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、国語国文の選択科目として開講されている科目です。舞台芸術を通し、日本の文化を学びます。

講義では、創立100周年を迎えようとする、世界に唯一の少女歌劇である宝塚歌劇団の出発期から現在までの歴史的な流れを中心に講義を展開し、音楽表現と身体表現の特質を理解します。また、元タカラジェンヌを特別講師として迎える予定です。

学修目標は、昨今、ミュージカルへの関心が高まり、質の高い作品に接する機会がますます増えてきています。特に、宝塚歌劇は大衆性と芸術性・娯楽性の面に注目し、文藝・音楽・衣装・舞踊・演劇などのさまざまな特質を生かした表現を分析し、考察することをねらいとします。また原作のある上演作品などは、原作本との比較を試みることで宝塚歌劇を理解します。

内容

1	宝塚歌劇とは何か
2	宝塚歌劇の歴史
3	宝塚歌劇の文化と小林一三
4	宝塚歌劇と文学作品
5	宝塚歌劇の作法と常識
6	宝塚歌劇と舞台形式
7	宝塚歌劇のお化粧
8	宝塚歌劇のポスターと経営戦略
9	宝塚歌劇のお衣装(洋物)
10	宝塚歌劇の作品研究
11	宝塚歌劇の音楽表現
12	宝塚歌劇と音楽研究
13	宝塚歌劇のお衣装(和物)
14	宝塚歌劇と原作
15	公演の観劇とまとめ

評価

毎講義に提出するレポート60点、期末試験40点 総合得点が60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】江藤茂博・植木朝子・加藤暁子・清水玲子・日向薫 著『宝塚歌劇団スタディーズ』(戎光祥出版)

科目名	古典芸能の世界		
担当教員名	井上 愛		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

わたしたちがテレビのドラマやバラエティ、舞台を見てワクワクするように、昔の人々も踊り、歌い、楽器を鳴らしながら演じる芸能者に熱狂した。観客たちは、「なにか違う空間を体感したい」気持ちで芸能を見に行った。また、みなさんのなかには、人前に立って緊張した経験をもつ人もたくさんいるだろう。芸能者たちも、みなさんと同じ緊張を克服し、人前で演じられる「身体」へと鍛えあげていった。

能や歌舞伎などの古典芸能は、難しいイメージを持たれがちだが、漫才のボケとツッコミは狂言に、映画や宝塚は歌舞伎に、ジャニーズのおおもとが能楽の大成者・世阿弥にあった！？など、現代の芸能には古典芸能が流れこんでいる。この講義では、芸能者と観客の両方から、古典芸能を学び、現代の芸能について考えていきたい。

能・狂言、歌舞伎、文楽、落語などの古典芸能の知識を吸収して、テレビ・映画・演劇など現代の芸能について考え、芸能への関心を高める。なお、年に1度、国立能楽堂で能と狂言を鑑賞する。

- 1、日本の芸能について、多角的で幅広い知識を得る。
- 2、古典から現代までの芸能者たちが演じる身体について学ぶ。
- 3、古典芸能が現代の芸能にどのようにつながっているのか考察する。
- 4、「道成寺」など、実際の作品を読むことで、ひとつのモチーフがさまざまなジャンル(文学・芸能・絵巻など)にどのように広がっていったのかを学ぶ。

内容

【1】(1,2) ガイダンス 日本の「芸能」入門編

【2】(3~10) 芸能の「身体」

- A、女芸能者たちの身体 男装の女芸能者「白拍子」の舞う肉体と宝塚歌劇との関連
- B、能楽 絶世の美少年・世阿弥が目指した能の身体と、ジャニーズのもつ少年美の魅力
- C、歌舞伎 初代・市川団十郎の目指した身体(目の魅力)が、市川海老蔵にどのように受け継がれているか
- D、演劇の身体 古典芸能の身体の使い方を、演劇にとりいれる

【3】(11~14) 「道成寺」

男を恋い慕うあまりに蛇体となり、道成寺の鐘もろとも男を焼き殺してしまった女の物語。説話・絵巻・能・歌舞伎・現代劇などのジャンルに扱われてきた内容を勉強する。

【4】(15) まとめ

【5】(16~18) 古典の「お笑い」入門

- A、狂言編 主人と太郎冠者から、現代漫才のボケとツッコミまで
- B、落語編 江戸時代のお笑いから、NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」まで

【6】(19,20) 日本の「楽器」入門

笛や小鼓や太鼓、琵琶、三味線、尺八など、昔からある楽器を取り上げ、それらの特色を学ぶ。

【7】(21~26) 役に“変身”する！ 死後もこの世をさまよう女たち

- A「亡霊」になる 地獄に堕ちた女。能「求塚」「檜垣」
- B「幽霊」になる 歌舞伎「四谷怪談」のお岩

C「怨霊」になる 映画「リング」の貞子像

【8】(27~29)「六条御息所」って誰？

六条御息所は、高貴で教養ある女性でありながら、光源氏への恋ゆえに、生霊から、果ては物の怪になってしまうという『源氏物語』随一の個性的な登場人物だ。『源氏物語』・能・現代小説・マンガ(『あさきゆめみし』など)などから、六条御息所のさまざまなイメージを探っていきたい。

【9】(30)まとめ

評価

前期・後期の試験...各35%、各授業の提出物...20%、授業態度...10%。60%以上で合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しない。授業時に適宜プリントを配布する。

科目名	マンガ文化論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

戦後日本の代表的なポピュラー文化として、マンガとアニメーションは相互に影響を与え合いながら発展してきました。その結果、マンガやアニメは、「ソフト・パワー」として現在日本の産業を支える重要なコンテンツになっています。日本ではどうして、こんなにもマンガとアニメが普及したのでしょうか？ その歴史的な文脈を探りながら、わたしたちの社会や文化、日常生活の中でマンガとアニメが果たしてきた役割を、文化社会学的な視点から考察します。そのために、広く社会学、歴史学、文化研究、メディア論、表象論、文学理論など、分析のために役立つ理論や方法論を毎週の講義を通じて紹介していきます。最終的には、受講者が実際にレポートなどを作成する際に使えるような知識を学んでもらうことが本講義の目的となります。また、製作現場が実際にはどのように展開されているかを学んでもらうために、実際にマンガやアニメーションの製作に関わっている特別講師の方を招いて特別講義をしてもらうことになっています。

内容

1. ポピュラー文化としてマンガとアニメをどう考察するか
2. 戦後マンガの歴史(1) 手塚治虫が開いた世界
3. 戦後マンガの歴史(2) 少年マンガの世界
4. 戦後マンガの歴史(3) 少女マンガの世界
5. マンガと表象(1) ジェンダーの視点から
6. マンガと表象(2) 恋愛の視点から
7. マンガとその製作現場 特別講師の授業
8. 戦後アニメの歴史(1) テレビアニメの世界
9. 戦後アニメの歴史(2) SFアニメの世界
10. 戦後アニメの歴史(3) アニメ映画の世界
11. アニメと表象(1) ハイブリディティの視点から
12. アニメと表象(2) テクノロジーの視点から
13. アニメとその製作現場 特別講師の授業
14. 「クール・ジャパン」現象を再検討する
15. まとめ

特別講師の講義日程によって、順番については多少の変更があります。

評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%を総合して評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書

津堅信之・アニメーション学入門・平凡社新書

推薦書

大塚英志 + ササキバラゴウ・教養としての まんが・アニメ

米沢嘉博・戦後少女マンガ史 ・ちくま文庫

その他、必要に応じて、授業の中でテキストを指示し、プリントを配布します。

科目名	エッセイ入門		
担当教員名	小林 実、星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

なにげなく見過ごしがちな、日常の細々とした事象に目を向け、文章というかたちですくいとることを目的としています。

内容

講義 1～7：「今朝の私」を書く。

作家のエッセイを鑑賞・筆写することと、実際に自分で書いてみることを、隔回ごとに繰り返しながら、文章構成の技術や、文体のバリエーションを身につけるための基礎訓練を行います。

講義 8～15：自分の視点を確立する。

毎回の課題作文を通じて、他人に読ませるための文章技術を学びます。

おもに取り上げる課題は、「季節の気配」「町並み」「ピンチ」「食べる」「寝る」「歩く」など。

その他、受講者の顔ぶれに応じて対応します。

評価

毎回提出する原稿(50%) 学期末作品(各50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

向田邦子『無名仮人名簿』(文春文庫、ISBN-13: 978-4167277031)

科目名	詩歌創作		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

詩や短歌の創作を通して、心のアンテナの感度を上げ、自分らしい表現力を身につける参加型の授業です。古典から現代までの詩歌作品に学びつつ、心の声を聴きながら、自分だけの詩歌作品をつくります。毎回、何らかの課題を提出してもらい、それを元に授業を進めます。

内容

1	詩歌って何？
2	ことばで遊ぶ
3	ことばで遊ぶ
4	ことばで遊ぶ
5	ことばで遊ぶ
6	心の声を聴く
7	型の力
8	型の力
9	型の力
10	型の力
11	連想と比喻
12	文体を選ぶ
13	連詩
14	総合作品創作
15	まとめ

評価

授業中に提出する課題(40点)、平常の受講態度(20点)、学期末に提出する課題(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布します。

科目名	アートとデザイン		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

現代社会に暮らす私たちは、様々な表象（イメージ）に囲まれています。それらは「だれか」の意匠であり、知らないうちに私たちの無意識に入り込み、世界観が作られる要因にもなっているのです。時代や文化の異なる芸術作品、デザインなどを鑑賞しながら、その時代や文化を、想像力をもって推し量り、現在の自分の見方、考え方をつくる手助けになればと考えています。

文字や印刷術、映画、コンピュータによる映像など、メディアを軸に表現・表象（イメージ）の歴史をたどっていきます。表現は時代背景と密接に結びついています。歴史的な背景を考慮し、時代の「心」に少しでも近づけるよう展開していきたいと思っています。また、アーティストやデザイナーにとって、制作の原理 となっている、色彩論（カラーコーディネイト）や視覚心理などについて、簡単な演習を含めて展開していきます。

作品鑑賞や簡単な実習を伴っているので、出席して授業に参加することが重要です。

内容

- ・文字の歴史 アルファベットと漢字
- ・印刷術の発明
- ・ルネッサンスと遠近法
- ・19世紀の大発明「写真」と美術
- ・動く映像 アニメーション始まり
- ・写真から映画へ
- ・3D映像の原理
- ・色彩の原理と配色の練習
- ・ゲシュタルト心理学について
- ・西洋美術の歴史 キリスト教と美術
- ・中世から近代へ 神から人への視線変更
- ・世紀末のデザインと美術
- ・心理学が美術を変えた - シュルレアリスム
- ・現代の美術
- ・まとめ

評価

平常点30点、提出物等30点、期末テスト40点 により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず。毎回プリントを配布

科目名	文章表現論		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、文章の書き方の基礎を学ぶ。まず、読み手を意識したわかりやすい手紙・メールの書き方を取り上げる。わかりやすい表現・構成にはどのような工夫がみられるのだろうか。読み手に伝えたいことを的確に伝える表現力を身につけることを目指す。その他、自己PR文、意見文、報告文なども取り上げ、目的に合わせて文章を構成する力を高めたい。また、ゼミ形式の授業や演習を履修する上で欠かせない、レジュメ・レポート・論文の書き方を学ぶ。学問的な表現や先行研究のまとめ方、論の組み立て方などを実践を通して身につけよう。

内容

文章表現力は日々の実践を通して身につくものです。受講生の主体的・積極的な参加を期待します。

1	ガイダンス
2	文章表現の基礎 わかりやすい文章とは
3	手紙・メールを書く
4	自己PR文を書く
5	意見文を書く
6	報告文を書く
7	レジュメを作成する
8	〃
9	レポートを書く
10	〃
11	〃
12	レポートを推敲する
13	文献の示し方や注釈について
14	〃
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(30%) 学期末に課す課題(70%) 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】高崎みどり編(2010)『大学生のための「論文」執筆の手引』秀和システム

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	文章表現論		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、文章の書き方の基礎を学ぶ。まず、読み手を意識したわかりやすい手紙・メールの書き方を取り上げる。わかりやすい表現・構成にはどのような工夫がみられるのだろうか。読み手に伝えたいことを的確に伝える表現力を身につけることを目指す。その他、自己PR文、意見文、報告文なども取り上げ、目的に合わせて文章を構成する力を高めたい。また、ゼミ形式の授業や演習を履修する上で欠かせない、レジュメ・レポート・論文の書き方を学ぶ。学問的な表現や先行研究のまとめ方、論の組み立て方などを実践を通して身につけよう。

内容

文章表現力は日々の実践を通して身につくものです。受講生の主体的・積極的な参加を期待します。

1	ガイダンス
2	文章表現の基礎 わかりやすい文章とは
3	手紙・メールを書く
4	自己PR文を書く
5	意見文を書く
6	報告文を書く
7	レジュメを作成する
8	〃
9	レポートを書く
10	〃
11	〃
12	レポートを推敲する
13	文献の示し方や注釈について
14	〃
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(30%) 学期末に課す課題(70%) 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】高崎みどり編(2010)『大学生のための「論文」執筆の手引』秀和システム

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	文章表現論		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、国語国文専攻の種々の科目に関わり、日本語で文章を書くための基礎を学ぶこととなります。

現代社会では、パソコンや携帯電話を使って、一般の人が文章を書く機会が増えています。レポートや目上の人へのメールを書く際には、普段の話しことばや、親しい人との携帯メールで用いる、「くだけた」表現では、不適切だと見なされることが起こります。それゆえ、やや「かたい」書きことばを用いた表現が必要となります。

授業では、感想文などの主観的な文章ではなく、報告文や説明文など、客観的な文章を、適切な書きことばを用いて書くための、基礎的な能力の習得を目標とします。

内容

1	大学生に必要な書きことばとは+自己紹介文の作成
2	自己PR文
3	敬語の基礎
4	メールの書き方
5	話しことばと書きことば
6	インターネット・図書館で調べる方法
7	説明文の書き方1
8	説明文の書き方2
9	接続表現の使い方
10	紹介文の書き方1
11	紹介文の書き方2
12	事実と意見の違いとその書き分け
13	レポートの書き方1
14	レポートの書き方2
15	まとめ

評価

毎回の授業における小レポート(5×14=70点)と試験(30点)により、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを配布する。

科目名	文章表現論		
担当教員名	星野 祐子、小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、文章の書き方の基礎を学ぶ。まず、読み手を意識したわかりやすい手紙・メールの書き方を取り上げる。わかりやすい表現・構成にはどのような工夫がみられるのだろうか。読み手に伝えたいことを的確に伝える表現力を身につけることを目指す。その他、自己PR文、意見文、報告文なども取り上げ、目的に合わせて文章を構成する力を高めたい。また、ゼミ形式の授業や演習を履修する上で欠かせない、レジュメ・レポート・論文の書き方を学ぶ。学問的な表現や先行研究のまとめ方、論の組み立て方などを実践を通して身につけよう。

内容

文章表現力は日々の実践を通して身につくものです。受講生の主体的・積極的な参加を期待します。

1	ガイダンス
2	文章表現の基礎 わかりやすい文章とは
3	手紙・メールを書く
4	自己PR文を書く
5	意見文を書く
6	報告文を書く
7	レジュメを作成する
8	〃
9	レポートを書く
10	〃
11	〃
12	レポートを推敲する
13	文献の示し方や注釈について
14	〃
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(30%) 学期末に課す課題(70%) 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】高崎みどり編(2010)『大学生のための「論文」執筆の手引』秀和システム

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	音声表現論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の教育のなかでこれまであまり熱心に行われてこなかった「読む」「話す」「聞く」などの音声表現に注目する。新聞・随筆・小説・詩・短歌・俳句などを声に出して朗読し、作品をより深く味わう。演習で発音や発声、アクセントや鼻濁音などの日本語の音声表現の基礎も同時に学ぶ。さらに、自分の意見を述べる、他の人の話をしっかり聞くための訓練もしたい。

内容

1	腹式呼吸、発音発声の基礎を学ぶ
2	短いスピーチで自分の音声表現を検討する
3	声に出して朗読するときの基本を学ぶ
4	新聞記事を読み、伝える
5	随筆を読み、内容を紹介する
6	小説を読み、味わう
7	「私の読書案内」スピーチ
8	スピーチの内容検討
9	詩・短歌・俳句などを朗読する
10	子どもとことば
11	絵本・昔話などの読み聞かせ
12	日本語の音声表現について考える
13	「外郎売」で、発音発声訓練のまとめ
14	ことばで自分を表現する
15	まとめ

評価

各回ごとの課題作成(30%)、口頭発表(50%)、クラスへの貢献度(20%)により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】好本恵著『話しことばの花束』(発行:リヨン社、定価1700円)

【推薦書】半谷進彦・佐々木端『基礎から学ぶアナウンス』(発行:NHK出版、定価1200円)

【参考図書】『新版NHKアナウンス・セミナー』(発行:NHK出版、定価2000円)

科目名	日本文学特講		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学を対象として精神的に把握することをめざす科目です。日本文学の各時代ごとの作品や思想をとりあげる科目や、民俗や宗教をとりあげる科目と関連します。

今のわたしたちが抱える問題であり、また永遠の問題ともいえるもののひとつに人間の死ということがあります。現代の高度な医療技術の発達によって人間の寿命は確かに長くなりましたが、一方で脳死と臓器移植の問題、尊厳死・終末期医療の問題などが浮上しています。また近代科学の発達によって、来世・あの世という死後の世界が否定されたことは、死から絶対的な安心を奪うことになりました。それは生きることの意味合いをも変えてしまったでしょう。日本の古典文学にあらわれた死と生のありようを通して、現代のわれわれにとっての死と生をとらえかえすことがねらいです。

それぞれの作品のテキストとしての特性をふまえ、そこにあらわれた死と生のありようを把握し、古代人の精神世界の変容過程を理解することが科目の学修目標です。

内容

前期	後期
(1) 日本神話の中の死と生	(1) 万葉集の中の死と生
(2) 神話とは何か	(2) 挽歌と葬歌
(3) 古事記と日本書紀	(3) 殯宮儀礼と挽歌
(4) 古事記のコスモロジー	(4) 万葉集の夢と靈魂
(5) 世界のはじまり	(5) 大伴旅人の讃酒歌
(6) 火の起源の神話	(6) 大伴旅人と神仙思想
(7) 黄泉国訪問	(7) 山上憶良の貧窮問答歌
(8) 三貴子誕生	(8) 山上憶良と世間
(9) 天石屋戸籠り	(9) 因果応報の思想
(10) オホゲツヒメと死体化生	(10) 『靈異記』の冥界と黄泉国
(11) 因幡の白ウサギ神話	(11) 『靈異記』の畜類償債譚
(12) 根之堅洲国訪問	(12) 『靈異記』の靈魂観
(13) 国譲り神話	(13) 『往生要集』の地獄と極楽
(14) 天孫降臨と海神国訪問	(14) 王朝人の死と生
(15) まとめ	(15) まとめ

講義内容は必要に応じて変更することがあります。

評価

筆記試験7割、レポート・提出物など3割、60点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	日本文学 / 芸術文化入門		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学および諸芸術学・メディア論の入門講座として、他の専門科目に対しては基礎的な科目となります。

講義では、文学・芸術・メディアの諸領域の範囲や概念、歴史、それらを研究・理解するための方法や理論など、基礎的な事柄を紹介していきます。文学・芸術・メディアを生み出す、わたしたち人間存在のあり方を含め、文学・芸術・メディアの世界に幅広く目を向けてもらい、二年間で学ぶ事柄の見取り図を手に入れられるようにします。実際の、芸能（落語、講談）の鑑賞も行う予定です。

講義を通じて、文学・芸術・メディアという現象について、基本的な概念を身につけ、文化のなかでそれらを位置づけられるようになることが学修目標です。

内容

- (1) 学問 への誘い
- (2) 対話 する精神
- (3) ことばと文化
- (4) 文学・芸術の始原
- (5) メディアの神話的起源
- (6) 芸能鑑賞（落語）
- (7) 伝統芸能と文学
- (8) 文学の力
- (9) 宗教と芸術
- (10) 芸能鑑賞（講談）
- (11) パフォーマンスと芸術
- (12) 生活と芸術
- (13) モラルと芸術
- (14) 芸術の共同作業
- (15) まとめ

講義内容や順序については変更する場合があります。

評価

筆記試験 7 割、レポート・提出物など 3 割、60 点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	日本文学 / 芸術文化入門		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学および諸芸術学・メディア論の入門講座として、他の専門科目に対しては基礎的な科目となります。

講義では、文学・芸術・メディアの諸領域の範囲や概念、歴史、それらを研究・理解するための方法や理論など、基礎的な事柄を紹介していきます。文学・芸術・メディアを生み出す、わたしたち人間存在のあり方を含め、文学・芸術・メディアの世界に幅広く目を向けてもらい、二年間で学ぶ事柄の見取り図を手に入れられるようにします。実際の、芸能（落語、講談）の鑑賞も行う予定です。

講義を通じて、文学・芸術・メディアという現象について、基本的な概念を身につけ、文化のなかでそれらを位置づけられるようになることが学修目標です。

内容

- (1) 学問 への誘い
- (2) 対話 する精神
- (3) ことばと文化
- (4) 文学・芸術の始原
- (5) メディアの神話的起源
- (6) 芸能鑑賞（落語）
- (7) 伝統芸能と文学
- (8) 文学の力
- (9) 宗教と芸術
- (10) 芸能鑑賞（講談）
- (11) パフォーマンスと芸術
- (12) 生活と芸術
- (13) モラルと芸術
- (14) 芸術の共同作業
- (15) まとめ

講義内容や順序については変更する場合があります。

評価

筆記試験 7 割、レポート・提出物など 3 割、60 点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	日本文学 / 芸術文化入門		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学および諸芸術学・メディア論の入門講座として、他の専門科目に対しては基礎的な科目となります。

講義では、文学・芸術・メディアの諸領域の範囲や概念、歴史、それらを研究・理解するための方法や理論など、基礎的な事柄を紹介していきます。文学・芸術・メディアを生み出す、わたしたち人間存在のあり方を含め、文学・芸術・メディアの世界に幅広く目を向けてもらい、二年間で学ぶ事柄の見取り図を手に入れられるようにします。実際の、芸能（落語、講談）の鑑賞も行う予定です。

講義を通じて、文学・芸術・メディアという現象について、基本的な概念を身につけ、文化のなかでそれらを位置づけられるようになることが学修目標です。

内容

- (1) 学問 への誘い
- (2) 対話 する精神
- (3) ことばと文化
- (4) 文学・芸術の始原
- (5) メディアの神話的起源
- (6) 芸能鑑賞（落語）
- (7) 伝統芸能と文学
- (8) 文学の力
- (9) 宗教と芸術
- (10) 芸能鑑賞（講談）
- (11) パフォーマンスと芸術
- (12) 生活と芸術
- (13) モラルと芸術
- (14) 芸術の共同作業
- (15) まとめ

講義内容や順序については変更する場合があります。

評価

筆記試験 7 割、レポート・提出物など 3 割、60 点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	日本文学 / 芸術文化入門		
担当教員名	星野 祐子、小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学および諸芸術学・メディア論の入門講座として、他の専門科目に対しては基礎的な科目となります。

講義では、文学・芸術・メディアの諸領域の範囲や概念、歴史、それらを研究・理解するための方法や理論など、基礎的な事柄を紹介していきます。文学・芸術・メディアを生み出す、わたしたち人間存在のあり方を含め、文学・芸術・メディアの世界に幅広く目を向けてもらい、二年間で学ぶ事柄の見取り図を手に入れられるようにします。実際の、芸能(落語、講談)の鑑賞も行う予定です。

講義を通じて、文学・芸術・メディアという現象について、基本的な概念を身につけ、文化のなかでそれらを位置づけられるようになることが学修目標です。

内容

- (1) 学問 への誘い
- (2) 対話 する精神
- (3) ことばと文化
- (4) 文学・芸術の始原
- (5) メディアの神話的起源
- (6) 芸能鑑賞(落語)
- (7) 伝統芸能と文学
- (8) 文学の力
- (9) 宗教と芸術
- (10) 芸能鑑賞(講談)
- (11) パフォーマンスと芸術
- (12) 生活と芸術
- (13) モラルと芸術
- (14) 芸術の共同作業
- (15) まとめ

講義内容や順序については変更する場合があります。

評価

筆記試験 7割、レポート・提出物など 3割、60点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	文学／芸術総論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当て考察していく講義である。

本年度のテーマは「日本文化における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学では日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわする天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。

本講義で学ぶ様々な 異界 分析を、受講生自身の身近な問題としてとらえていただきたい。 異界 を知ることで、既存の世界を見直し、自分自身の存在を再確認してみることが授業のねらいである。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の物語は、月世界から地上に下ったかぐや姫から始まる。陰暦によって運行されていた古代社会は現代とは比較にならないほど月との関係が深かった。王朝文学と月についての話からはじめて、貴族社会に度々現れた怨霊と『源氏物語』に描かれた怨霊、また、都を離れて東国や西国へ旅した貴族たちを取り上げ、王朝文化における 異界 について考える。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下の太平の世における精神安定剤であり、前代中世の戦乱への鎮魂であり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる 負のキャンパス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説（上田秋成・井原西鶴）・近世韻文 俳諧 ・絵画 浮世絵・挿絵 などで探してみたい。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

評価；平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を、平常点がある程度満たし、総合点が60点に満たな場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書等；講義は授業で配布するプリントによる。また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	文学／芸術総論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当て考察していく講義である。

本年度のテーマは「日本文化における 異界 」である。私たちの周りには普通の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学では日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわする天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。

本講義で学ぶ様々な 異界 分析を、受講生自身の身近な問題としてとらえていただきたい。 異界 を知ることで、既存の世界を見直し、自分自身の存在を再確認してみることが授業のねらいである。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の物語は、月世界から地上に下ったかぐや姫から始まる。陰暦によって運行されていた古代社会は現代とは比較にならないほど月との関係が深かった。王朝文学と月についての話からはじめて、貴族社会に度々現れた怨霊と『源氏物語』に描かれた怨霊、また、都を離れて東国や西国へ旅した貴族たちを取り上げ、王朝文化における 異界 について考える。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下の太平の世における精神安定剤であり、前代中世の戦乱への鎮魂であり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる 負のキャンパス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説(上田秋成・井原西鶴)・近世韻文 俳諧 ・絵画 浮世絵・挿絵 などで探してみたい。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

評価；平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を、平常点がある程度満たし、総合点が60点に満たな場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書等；講義は授業で配布するプリントによる。また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	文学 / 芸術総論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

本授業は、設定されたテーマに対して文学芸術の様々な方向から照明を当て考察していく講義である。

本年度のテーマは「日本文化における 異界 」である。私たちの周りには普段の生活を営んでいる世界とは異なる世界がある。それは、たとえば親しい人の死に遭遇して考える来世や、何億光年の彼方に存在するかもしれない異星人の世界のような、特殊な世界とは限らない。遠い地方や海外に旅した時、また3000メートル級の高山に登頂した時に感じる感動や発見等も、異なる世界での経験といえるだろう。

日本文学では日常生活と異なる出来事が起こる世界を異界としてとらえ、様々な形で表現してきた。神々のおわする天上界、かぐや姫が帰った月の世界、浦島太郎が訪れた龍宮城、泉鏡花が描いた夜叉が池など、 異界 が文学にもたらした豊かな発想や想像力は計り知れない。そのような異界の存在を、私たちは早くから知らされ、自然に受け入れてきた。異界は、私たちの日常社会を逆照射する世界でもある。普段感じることのない自らの正体や存在意義を知らせてくれるのも、異界に足を踏み入れ、そこから自分を顧みる時なのである。

本講義で学ぶ様々な 異界 分析を、受講生自身の身近な問題としてとらえていただきたい。 異界 を知ることによって、既存の世界を見直し、自分自身の存在を再確認してみることが授業のねらいである。

内容

王朝文化の中の 異界

平安時代の物語は、月世界から地上に下ったかぐや姫から始まる。陰暦によって運行されていた古代社会は現代とは比較にならないほど月との関係が深かった。王朝文学と月についての話からはじめて、貴族社会に度々現れた怨霊と『源氏物語』に描かれた怨霊、また、都を離れて東国や西国へ旅した貴族たちを取り上げ、王朝文化における 異界 について考える。

近世文化の中の 異界

江戸時代の文化における 異界 は、約260年間の鎖国時代における、徳川長期政権の幕藩体制下の太平の世における精神安定剤であり、前代中世の戦乱への鎮魂であり、やがて開国する海外文明でもあり、自由な創作意欲をかきたてる 負のキャンパス でもあった。此岸と彼岸のあわいの美学を、近世小説(上田秋成・井原西鶴)・近世韻文 俳諧 ・絵画 浮世絵・挿絵 などで探してみたい。

近代文化の中の 異界

近代文化における 異界 とは、単に神や妖怪が跳梁跋扈するような領域であるばかりではなく、現世の 異国 、すなわち実際に地図上に記された場所でもあった。源義経がジンギスカンになったという伝説が広まったのは、明治から昭和にかけてのことである。近代的な公教育が否定した迷信のゆくえを追って、民衆の噂の中に分け入ってみることにする。どうして今でも私たちは「外国」が恐いのだろう？

評価

評価；平常点40点、ペーパーテスト60点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を、平常点がある程度満たし、総合点が60点に満たな場合は再試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書等；講義は授業で配布するプリントによる。また、必要に応じて授業で推薦書を紹介する。

科目名	マスコミ・メディア総論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代のメディア社会の問題を軸に、日常生活でふれる文化、それを支える感性の形成を総合的に考察していきます。人と人のあいだをつなぐものという「メディア」本来の意味をふまえながら、現代社会におけるコミュニケーションやネットワークの在り方を、過去の歴史とともに検討し、旧来のアナログ社会とのバランスを論じていきます。現代のメディア社会の状況とその問題点を理解し、そこにどう対処していけばよいか自らの力で考えられるようになることを目標とします。

内容

1	友だち100人できるのか?
2	尻尾はつかませたほうがいい
3	事件の背景をよむちから
4	無意識のつながり
5	本当のリアリティとは
6	プロとアマ
7	文化サロン
8	勝海舟談話
9	裏舞台のネットワーク
10	賢人セネカ
11	セネカをよむ
12	嵐の中で死者と語らう
13	歴史はわたし
14	わたしがメディアになる
15	総括

評価

毎回のリアクションペーパー(50%)、学期末試験(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	基礎講読		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グループワークや、ロールプレイ、ディベートなどを通して、多様な社会において確かな人間関係を作り上げながら困難を乗り越えていく根本的なライフスキル、つまり「生きる力」を身に付ける授業です。一方的に講義を聴く授業ではなく、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、以下の ~ の大テーマに沿って行います。 高校生から短大生へ 短大生活の心構えやアカデミックスキルを学びます。 自己認識と自己表現、他者理解 自分を尊重すると同時に、他人を尊重する力を身につけます。お互いに理解しあう際に必要なのが「ことば」です。自分の意見を十分に表現するための日本語力も養成します。 コミュニケーション力と問題解決力 グループワークを通して、一つの問題を考えあい、問題解決の方法を探ります。コミュニケーションの間に横たわる価値観の違いを理解したうえで、話し合いを進めます。 心の成長とストレスマネジメント 自分の感情とうまくつきあい、日常生活で生じるさまざまなストレスに対処しながら心を鍛える方法を学びます。 目標設定と意志決定～未来へ向けて 自分の未来を考え、目標を設定し、最良の選択できるような力を養います。自分の頭で判断して、方向を決めるとはどういうことかを学びます。

内容

< 高校生から短大生へ >

- 1 短大生活とは？
- 2 ノートのとり方
- 3 自己マネジメント
- 4 情報の集め方・図書館の利用法
- 5 レポートの書き方

< 自己認識と自己表現、他者理解 >

- 6 私は誰？
- 7 第一印象
- 8 自分をひらく・他人を知る
- 9 聴く力
- 10 語る力
- 11 質問する力

< コミュニケーション力と問題解決 >

- 12 価値観の違い
- 13 「絵」を伝える
- 14 ディベート

< 心の成長とストレスマネジメント >

- 15 自分の感情と向き合う
- 16 言葉が人にあたえる影響
- 17 ストレスと付き合う・乗り越える

< 目標設定と意志決定～未来へ向けて >

- 18 マスメディアの罨
- 19 失敗は成功のもと
- 20 私のこれから

評価

平常の受講態度（20点）、筆記試験（40点）、学期末の提出物（40点）により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『社会人のための日本語トレーニング』エデュケーショナル・ネットワーク

科目名	基礎講読		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グループワークや、ロールプレイ、ディベートなどを通して、多様な社会において確かな人間関係を作り上げながら困難を乗り越えていく根本的なライフスキル、つまり「生きる力」を身に付ける授業です。一方的に講義を聴く授業ではなく、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、以下の ~ の大テーマに沿って行います。 高校生から短大生へ 短大生活の心構えやアカデミックスキルを学びます。 自己認識と自己表現、他者理解 自分を尊重すると同時に、他人を尊重する力を身につけます。お互いに理解しあう際に必要なのが「ことば」です。自分の意見を十分に表現するための日本語力も養成します。 コミュニケーション力と問題解決力 グループワークを通して、一つの問題を考えあい、問題解決の方法を探ります。コミュニケーションの間に横たわる価値観の違いを理解したうえで、話し合いを進めます。 心の成長とストレスマネジメント 自分の感情とうまくつきあい、日常生活で生じるさまざまなストレスに対処しながら心を鍛える方法を学びます。 目標設定と意志決定～未来へ向けて 自分の未来を考え、目標を設定し、最良の選択できるような力を養います。自分の頭で判断して、方向を決めるとはどういうことかを学びます。

内容

< 高校生から短大生へ >

- 1 短大生活とは？
- 2 ノートのとり方
- 3 自己マネジメント
- 4 情報の集め方・図書館の利用法
- 5 レポートの書き方

< 自己認識と自己表現、他者理解 >

- 6 私は誰？
- 7 第一印象
- 8 自分をひらく・他人を知る
- 9 聴く力
- 10 語る力
- 11 質問する力

< コミュニケーション力と問題解決 >

- 12 価値観の違い
- 13 「絵」を伝える
- 14 ディベート

< 心の成長とストレスマネジメント >

- 15 自分の感情と向き合う
- 16 言葉が人にあたえる影響
- 17 ストレスと向き合う・乗り越える

< 目標設定と意志決定～未来へ向けて >

- 18 マスメディアの罨
- 19 失敗は成功のもと
- 20 私のこれから

評価

平常の受講態度（20点）、筆記試験（40点）、学期末の提出物（40点）により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『社会人のための日本語トレーニング』エデュケーショナル・ネットワーク

科目名	基礎講読		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グループワークや、ロールプレイ、ディベートなどを通して、多様な社会において確かな人間関係を作り上げながら困難を乗り越えていく根本的なライフスキル、つまり「生きる力」を身に付ける授業です。一方的に講義を聴く授業ではなく、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、以下の ~ の大テーマに沿って行います。 高校生から短大生へ 短大生活の心構えやアカデミックスキルを学びます。 自己認識と自己表現、他者理解 自分を尊重すると同時に、他人を尊重する力を身につけます。お互いに理解しあう際に必要なのが「ことば」です。自分の意見を十分に表現するための日本語力も養成します。 コミュニケーション力と問題解決力 グループワークを通して、一つの問題を考えあい、問題解決の方法を探ります。コミュニケーションの間に横たわる価値観の違いを理解したうえで、話し合いを進めます。 心の成長とストレスマネジメント 自分の感情とうまくつきあい、日常生活で生じるさまざまなストレスに対処しながら心を鍛える方法を学びます。 目標設定と意志決定～未来へ向けて 自分の未来を考え、目標を設定し、最良の選択できるような力を養います。自分の頭で判断して、方向を決めるとはどういうことかを学びます。

内容

< 高校生から短大生へ >

- 1 短大生活とは？
- 2 ノートのとり方
- 3 自己マネジメント
- 4 情報の集め方・図書館の利用法
- 5 レポートの書き方

< 自己認識と自己表現、他者理解 >

- 6 私は誰？
- 7 第一印象
- 8 自分をひらく・他人を知る
- 9 聴く力
- 10 語る力
- 11 質問する力

< コミュニケーション力と問題解決 >

- 12 価値観の違い
- 13 「絵」を伝える
- 14 ディベート

< 心の成長とストレスマネジメント >

- 15 自分の感情と向き合う
- 16 言葉が人にあたえる影響
- 17 ストレスと向き合う・乗り越える

< 目標設定と意志決定～未来へ向けて >

- 18 マスメディアの罨
- 19 失敗は成功のもと
- 20 私のこれから

評価

平常の受講態度（20点）、筆記試験（40点）、学期末の提出物（40点）により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『社会人のための日本語トレーニング』エデュケーショナル・ネットワーク

科目名	基礎講読		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

グループワークや、ロールプレイ、ディベートなどを通して、多様な社会において確かな人間関係を作り上げながら困難を乗り越えていく根本的なライフスキル、つまり「生きる力」を身に付ける授業です。一方的に講義を聴く授業ではなく、学生同士がお互いに学び合います。

具体的には、以下の ~ の大テーマに沿って行います。 高校生から短大生へ 短大生活の心構えやアカデミックスキルを学びます。 自己認識と自己表現、他者理解 自分を尊重すると同時に、他人を尊重する力を身につけます。お互いに理解しあう際に必要なのが「ことば」です。自分の意見を十分に表現するための日本語力も養成します。 コミュニケーション力と問題解決力 グループワークを通して、一つの問題を考えあい、問題解決の方法を探ります。コミュニケーションの間に横たわる価値観の違いを理解したうえで、話し合いを進めます。 心の成長とストレスマネジメント 自分の感情とうまくつきあい、日常生活で生じるさまざまなストレスに対処しながら心を鍛える方法を学びます。 目標設定と意志決定～未来へ向けて 自分の未来を考え、目標を設定し、最良の選択できるような力を養います。自分の頭で判断して、方向を決めるとはどういうことかを学びます。

内容

< 高校生から短大生へ >

- 1 短大生活とは？
- 2 ノートのとり方
- 3 自己マネジメント
- 4 情報の集め方・図書館の利用法
- 5 レポートの書き方

< 自己認識と自己表現、他者理解 >

- 6 私は誰？
- 7 第一印象
- 8 自分をひらく・他人を知る
- 9 聴く力
- 10 語る力
- 11 質問する力

< コミュニケーション力と問題解決 >

- 12 価値観の違い
- 13 「絵」を伝える
- 14 ディベート

< 心の成長とストレスマネジメント >

- 15 自分の感情と向き合う
- 16 言葉が人にあたえる影響
- 17 ストレスと向き合う・乗り越える

< 目標設定と意志決定～未来へ向けて >

- 18 マスメディアの罨
- 19 失敗は成功のもと
- 20 私のこれから

評価

平常の受講態度（20点）、筆記試験（40点）、学期末の提出物（40点）により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『社会人のための日本語トレーニング』エデュケーショナル・ネットワーク

科目名	硬筆書道		
担当教員名	長濱 トモ子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格—この科目は国語国文専攻生として、「文字を書く」ことの意義を認識し、硬筆によって文字を正しく、美しく、速く書く技能と理論を学びます。

科目の概要—現在、日常表記活動の多くが、「書く」から「キーを打つ」へ変わりつつあります。講義では、「手書き」には大きな意義があることを認識して、硬筆による漢字やかなの知識と技法を身につけ、実用書を正しく美しく書く力を養います。また、硬筆作品を制作する喜びを味わい、「文字を書く」豊かな心を培います。硬筆書写検定の受験指導にも応じます。

学修目標—目標は次のとおりです。 筆記具の持ち方、姿勢、執筆のくせを直し、正しい書法に基づいて練習するように心がける。 注意深く手本を学び、字形や筆順、書体の要領を身につける。 漢字かな交じり文を目的に適した書体、文字の大きさ、配置に配慮して、体裁よく書けるようにする。 各回ごとに、清書作品を提出する。

内容

1	1.硬筆書道の学び方	16.楷書と行書
2	2.かな(ひらがな、カタカナ)の基本1	17.芳名帳 慶弔用語
3	3. " 2	18.掲示物1
4	4.楷書の基本1	19. " 2
5	5. " 2	20.ひらがなの連綿1
6	6. " 3	21. " 2
7	7. " 4	22.漢字かな交じり文
8	8.数字・アルファベット	23.作品制作1
9	9.横書き	24. " 2
10	10.履歴書1	25. " 3
11	11. " 2	26.年賀状1
12	12.行書の基本1	27. " 2
13	13. " 2	28.封筒・手紙文1
14	14.暑中見舞1	29. " 2
15	15. " 2	30.まとめ

評価

提出作品60点、平常点40点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】川端比侶子「ペン習字ハンドブック」日本習字普及協会
適宜プリントを配布する

【推薦書】狩田巻山「ペン字精習」上・下 日本習字普及協会

江守賢治「楷行草 筆順・字体字典」 三省堂

高田・大久保・長尾・宮崎（共著）「ペン習字三体」 日本習字普及協会

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

< 火事と喧嘩は江戸の華 > そんな江戸時代に成立した浮世絵は、江戸の町における人情や流行などの情報を盛り込みながら美しい色と形からなる日本独自の美術である。

この授業の目的は二つある。第一は、江戸時代に成立した新しいジャンルである、浮世絵を学びながら、浮世絵の中の江戸空間 に入り込んで、江戸の美術を楽しく鑑賞することである。第二は、日本と世界のさまざまに個性的な美術館・博物館を調べて、そのコレクションの特色を知り、21世紀の新しい美術館・博物館のあり方を探り、いつかそこを訪れることである。

演習形式の授業であり、各自の感性にあった浮世絵師を選び、多くの資料からその人生と作品を調べて、独自のテーマでプレゼンテーションをする。授業の最後は、全員でのディスカッションである。

毎年、最後にその年のメンバー全員が行った研究成果をまとめた『近世レポート』を作成している。

内容

1	<前期> 序 浮世絵とは
2	浮世絵の概説 浮世絵の歴史
3	浮世絵の概説 浮世絵の種類と作者たち
4	浮世絵の概説 浮世絵の作り方(DVD)
5	4~7 世界の浮世絵を所蔵する美術館の作品をテーマごとに調査する。
6	8~15 (各自の好きな作家の作品についてレポートをする。)
7	15 前期のまとめ
8	<夏期休暇>
9	日本と世界の美術館・博物館を2つずつ調査する(レポート)
10	<後期>
11	1~10 (各自の好きな作家の作品についてレポートをする。)
12	太田記念美術館の紹介
13	<課外授業> 浮世絵太田記念美術館の見学
14	ディスカッション
15	後期のまとめ

評価

評価は、平常点(10点)、レポート(40点)、演習発表と近世レポート原稿作成(50点)のうち、60点以上を合格点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】小林 忠監修 『カラー版 / 浮世絵の歴史』 (美術出版社)

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

以前は専門的な技術者の分業によっていた出版・編集が、近年ではコン ピュータを使うことによって、簡単かつパーソナルに行えるようになりました。この授業ではイラストレータとフォトショップというデザイナーにとっては定番 のソフトを使用して、マークやイラストを描き、文字や写真とともに編集・デザインして最終的に本という形にまとめていきます。素材の選び方、料理の仕方によって、さまざまな表現の可能性があることを知り、実際に作品を制作する体験をします。オリジナルな「自分の表現」を見つけましょう。

イラストレータとフォトショップにはそれぞれに特徴があります。特性を知り、上手に使っていくための演習をします。実際に作品を作っていくので、出席して一步一步作業を進めることが大切です。それに加え、普段から本や絵本を見て、自分の感性を磨いておきましょう。

内容

まず、イラストレータで自分のマークを作り、それを使ったステイショナリーを作ります。

フォントについて学習し、フォントの使い方を実習します。

フォトショップによる写真や画像の調整方法も平行して覚えていきましょう。

CDジャケットや文庫本のカバーを作成します。

「本」の構造を学び、前期はテキストを主体とした詩集をつくり、製本します。

後期はフォトショップを本格的に学習し、イラストレーションを主体とした絵本を作成します。

また、フォトショップのアニメーション機能を使って、簡単なアニメーションを作成します。

評価

評価 平常点40点 提出物 60点 として、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず。適宜プリントを配布します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

少人数の学生を対象とした、テキストに関して考え、そして論じる力を養成する講座です。この科目では、映像テキスト(映画やテレビドラマ、アニメーションやマンガなど)を分析する方法を身につけてもらいます。身近な物語を、理論的に分析し、批評意識を手にしてもらうことになるでしょう。学修目標としては、映像テキストを批評・論評した文章を書くこと、表現力とともにオリジナルな観点を手に入れることとなります。

内容

取り上げるテキストは、例年受講学生と相談のうえで決定しています。具体的には、連続テレビドラマを、各回ごとに担当者を決めて、口頭発表をしてもらうというスタイルを続けています。それと同時に、各自の関心あるテキストを取り上げて報告してもらうのが前期、共通するテキスト(たとえば、取り上げたテレビドラマの第五話を共通のテキストとして)を分析して論考に仕上げるのが後期、となります。いずれにせよ、受講学生は発表することが義務付けられることになります。

評価

各自の発表(30パーセント)と演習への参加(40パーセント)と論考制作(30パーセント)で評価することになります。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

とくにありませんが、授業で紹介することがあります。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年		ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目では、これまで学んできた知識を基にして、日本語の調査・研究方法について学ぶとともに、自らが研究し発表、討論を行うものである。

日常使用している言葉に対して、わたしたちは知らず知らずのうちに「正しい」とか、「普通」、「公の場にふさわしい」といった規範意識をもっている。規範意識がもっとも顕著にあらわれるのは国の日本語の施策上であるが、施策は、日本語の状況や、人々の日本語の状況把握、認識の上に成り立つものである。規範意識が施策としてあらわれてくる明治期を対象に、このような規範は、当時の、どのような言語状況を背景に、いつ、どうして成立したのかを考えたい。

わたしたちの言葉の背景に規範意識があるということを確認した上で、外的要因からいたずらに価値判断を下すのではなく、実際の日本語の状況や、人々の日本語に対する認識を、言語資料を通してさまざまな角度から読み取っていく。これらの作業を通して、わたしたちの価値判断の過程そのものをも見直すきっかけにしたい。

内容

授業は、以下の手順で行う。

前期

- ・明治期の日本語の概説
- ・日本語の調査法
- ・文法・意味・語彙についての予備調査・発表
- ・テキストの読解(若松賤子『小公子』)

後記

- ・明治期の日本語研究の概要
- ・参考文献の解題
- ・各自がテーマ(一例として、言文一致、標準語と方言、仮名遣い、漢字、文体、女性らしい言葉遣い、敬語など)を決め、調査・発表。

評価

発表40%、レポート30%、平常点20%、出席点10%で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストはプリントで配布します。

参考資料は、必要に応じて、授業中に紹介します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

雑誌の作成を行う。雑誌の企画や構成やレイアウトなどの編集を行い、雑誌を作成する。

雑誌作成の過程で、アイデアを出し、インタビューをまとめたり、自分で文章を書いたりしながら作り上げていく。共同で一冊の雑誌を作成したり、単独で編集してもらったりする。

雑誌の作成を通じて編集力、文章力、構成力の各技能の向上を図る。

内容

私たちが手にする一冊の本や雑誌ができるまでには、企画・取材・記事執筆・編集・レイアウトなど様々な段階を経ています。本演習では、実際に雑誌作りを体験してもらいます。

全員でアイデアを出し合って企画を練ったり、インタビューを行ったり、記事を書いたりして、実際に雑誌を作成する楽しさを知ってもらおうと思います。

まずグループごとに企画を練り、取材をして記事を書き、雑誌のデザインをするといった共同編集作業による制作を行います。次には、各人による個人編集の雑誌作りに挑戦してもらいます。

評価

授業への取り組み（50%）。制作した雑誌についての評価〔記事の内容やレイアウトなど〕（50%）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

テーマは「日本のなかの外国/外国のなかの日本」。

例えば宇都宮の名物がギョーザだというのは、よく考えるとヘンな気がしませんか？あるいは、ジンギスカン焼肉は本当はモンゴル料理じゃなくて日本料理であるとか、日本の(日本だけではありませんが)女性に大人気のルイ・ヴィトン、本場パリでは若い人は身につけないって、知っていますか？

ふだんにげなく接している「外国のもの」や「外国的なもの」を良く調べてみると、なんかヘンだぞ日本人！という実態がみえてきます。そこからあらためて、日本文化とはなにか、どのようなものなのか、じっくり考えてみましょう。

内容

授業では、参加者各自が、好みの国・地域をえらび、それに関わる文物の移入のされ方や、使われ方の歴史、小説や演劇、音楽、マスコミ、街なかでのとり上げられ方など、多角的に調査のうえ報告し、全員で討論しながら、日本文化とはどのようなものなのか、考えてもらいたいと思います。

好みの文物から、それが喚起する国や地域について考察してもよいです。

評価

議論への参加・貢献度(50%)、学年末レポート(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】マイク・モラスキー『戦後日本のジャズ文化 映画・文学・アングラ』(青土社)

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

2年生の専門選択必修科目です。学生各自の調査にもとづく発表と討議による演習形式により主体的な学習態度を身につけます。

「霊柩車を見たら親指を隠す」「夜、爪を切らない」というタブー・迷信が今でも意外に信じられていることに驚くことはないでしょうか。あるいは河童などの妖怪は信じられなくなってきているとはいえ、口裂け女や学校の怪談などの怪奇な話は繰り返し再生するのはなぜでしょう。私たちがふだん何気なく行っているさまざまな暮らし方や習慣のなかに、実は日本的なものの見方や考え方が潜んでいます。この演習では日本の伝承文化の世界を探ることを通して、日本的なものや、わたしたち自身のありかたを問い直します。

調査・発表の技術を身につけ、伝承文化の概念を理解し、日本的なものについて理解を深めることが学修目標です。

内容

学生の発表と討議による演習形式を中心とします。発表者は担当部分について資料・参考文献を調べ、発表用資料を作成し、それにもとづいて発表を行い。その後、参加者全員で討議していきます。前期の最初の数回は、講義形式で資料・参考文献の調査の方法、伝統社会や民俗学の概要について説明を行ったうえで担当を決定します。

年間のスケジュールは以下の通り。

（1）授業計画説明

演習担当の決定・調査の手順・発表資料の作成手順・参考文献の解題

（2）前期演習

出席者と相談の上で以下の二案のどちらかに決定します。

伝承文化のなかから各自の興味・関心のある分野について概説的な発表を行う。例としては[通過儀礼（誕生・出産、葬制・墓制、祖先崇拜など）、年中行事（正月、農耕儀礼など）、まつり・民俗芸能、口承文芸（昔話、伝説、民謡、童謡、世間話、都市伝説など）、民間信仰（俗信、妖怪、まじない、のろいなど）、衣食住、民具など]。

『現代の民話』『遠野物語』に描かれた伝承世界を分担して発表する。

（3）後期演習

前期の発表からさらに各自のテーマを絞り込み、レポートでの文章化を前提に発表する。

評価

演習の担当部分の発表4割、レポート4割、質疑応答などの平常点2割の配分で評価します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。授業中、講読することが決まったテキストは購入して下さい。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

科目名	日本文学・文化演習		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

古典として現代に残っている文学作品は、それ相応の価値を持って長い間読み継がれてきたものです。それゆえ古典は何度読んでも読者それぞれの人生経験に応じて新たな発見ができます。映画やテレビドラマ、漫画、歌劇など、様々なメディアに翻訳され続けている『源氏物語』は、どの時代にも受け入れられる許容性と永遠性を備えた作品です。永遠のヒーロー光源氏をはじめ魅力的な様々な女性たち、そして作者紫式部と出会う楽しみを、原文を基礎として、様々なメディア作品にも触れつつ堪能していきたいと思います。

『源氏物語』を登場人物に即して読んでいきます。受講生がそれぞれ担当する人物を決めて資料を調べ、授業で紹介します。また、担当者以外の受講生は、発表を聞いた後に自分なりの見解や感想を述べ、お互いに学び合います。

文学作品を登場人物に沿って読むだけでなく、それぞれの人物の性格や人生について詳しく調べ、より深い物語理解を目指します。作者が試みた人物造型の意味を各自がとらえ、自分なり物語観を得ることを目標とします。

内容

源氏物語の中から、各自が興味を持っている登場人物や平安時代の習俗について調査し、作成した資料に基づいて発表し、意見交換をして互いに学び合う授業です。

前期の数回は講義や視聴覚資料によって作品についての概要を学びます。漫画や映画など、様々なメディアに読み替えられた『源氏物語』についても積極的に取り上げていくつもりです。

最後に、各自が好きな登場人物を選んで、研究レポートとしてまとめます。

第1回目 ガイダンス

第2回目 作者についての概説

第3回～5回目 作品についての概説

第6回目以降 研究発表と意見交換（担当者各回に2名ずつ）

発表は各自が最低2回は行い、最終レポートを提出すること。

評価

授業での発表内容が40点とレポートが60点で、60点以上を合格とする。

なお、最終レポートの提出は単位取得の絶対条件とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】新編日本古典文学全集『源氏物語』（小学館）

『源氏物語の鑑賞と基礎知識』鈴木一雄監修（至文堂）

『人物で読む源氏物語』（勉誠出版）

その他、源氏物語関係の書は多数あるので、授業で適宜紹介していく。

科目名	基礎書道		
担当教員名	鈴木 慈子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

文字を美しく書くことを「書道」と呼んでいます。毛筆で書く文字には活字にない美しさがあります。長い歴史の中で残された古人の優れた書を鑑賞し、古典に立脚した正しい実技の習得を目指します。そして書のすばらしさ、美しさをしっかり受け止める力を養い、書く楽しさを身につけてほしいと思います。

授業では、十数種の名筆を手本にして臨書し、他と比べることで個々の良さがより鮮明になることをねらっています。漢字の基本となる知識や技法を十分に修得して、自己を表現できる芸術性のある書へと展開してほしいと思います。

内容

基本となる楷書から入り、行書、草書と臨書を進めていきます。細楷の練習にもなる写経。実用書として暑中見舞いはがきと年賀状の作成。大字作品を書くということで条幅作品も制作します。

さらに、臨書で培った力を発揮した創作作品にも挑戦してみたいと思います。

書道史は、現在見ることのできる最古の文字である甲骨文から、書の黄金時代と言える唐の時代までを範囲とします。時代の進展とともに様々な書体が生まれてきた過程、各時代の書家や作品について、伝わる逸話などもまじえながら解説します。

(前期)

実技 楷書の結体を習得するために、初唐の三大家の代表的作品を臨書する。

行書学習として、王羲之の名品である蘭亭序を臨書する。

般若心経の写経。

個性的な書画による暑中見舞いはがきの作成。

条幅作品の制作。

書道史 殷・周・秦代の書である篆書の資料の鑑賞と説明。

漢代の隷書の碑群、木簡などについて。

すべての書体がそろう三国時代。書道史の中心となった王羲之の登場と筆跡資料について。

(後期)

実技 独創的な書風を開拓した顔真卿の楷書を臨書する。

集字聖教序、枯樹賦、風信帖等の臨書により行書の技法を学ぶ。

草書学習として、十七帖、書譜を臨書する。

隷書、篆書にも触れてみる。

干支を意識した年賀状の作成。

一年間の集大成に自由な題材を選んで創作作品を書く。

書道史 北魏、隋、唐時代の書について。

初唐の三大家による楷書の完成と、多数の名筆について鑑賞する。

評価

各臨書課題の清書・写経・条幅など、作品による評価7割、ペーパーテスト3割、60点以上を合格とする。各作品の提

出とペーパーテストはともに必須事項。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】久米東邨編著『書道芸術（漢字編）』（萱原書房）

科目名	基礎書道		
担当教員名	鈴木 慈子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

文字を美しく書くことを「書道」と呼んでいます。毛筆で書く文字には活字にない美しさがあります。長い歴史の中で残された古人の優れた書を鑑賞し、古典に立脚した正しい実技の習得を目指します。そして書のすばらしさ、美しさをしっかり受け止める力を養い、書く楽しさを身につけてほしいと思います。

授業では、十数種の名筆を手本にして臨書し、他と比べることで個々の良さがより鮮明になることをねらっています。漢字の基本となる知識や技法を十分に修得して、自己を表現できる芸術性のある書へと展開していったほしいと思います。

内容

基本となる楷書から入り、行書、草書と臨書を進めていきます。細楷の練習にもなる写経。実用書として暑中見舞いはがきと年賀状の作成。大字作品を書くということで条幅作品も制作します。

さらに、臨書で培った力を発揮した創作作品にも挑戦してみたいと思います。

書道史は、現在見ることのできる最古の文字である甲骨文から、書の黄金時代と言える唐の時代までを範囲とします。時代の進展とともに様々な書体が生まれてきた過程、各時代の書家や作品について、伝わる逸話などもまじえながら解説します。

(前期)

実技 楷書の結体を習得するために、初唐の三大家の代表的作品を臨書する。

行書学習として、王羲之の名品である蘭亭序を臨書する。

般若心経の写経。

個性的な書画による暑中見舞いはがきの作成。

条幅作品の制作。

書道史 殷・周・秦代の書である篆書の資料の鑑賞と説明。

漢代の隷書の碑群、木簡などについて。

すべての書体がそろう三国時代。書道史の中心となった王羲之の登場と筆跡資料について。

(後期)

実技 独創的な書風を開拓した顔真卿の楷書を臨書する。

集字聖教序、枯樹賦、風信帖等の臨書により行書の技法を学ぶ。

草書学習として、十七帖、書譜を臨書する。

隷書、篆書にも触れてみる。

干支を意識した年賀状の作成。

一年間の集大成に自由な題材を選んで創作作品を書く。

書道史 北魏、隋、唐時代の書について。

初唐の三大家による楷書の完成と、多数の名筆について鑑賞する。

評価

各臨書課題の清書・写経・条幅など、作品による評価7割、ペーパーテスト3割、60点以上を合格とする。各作品の提

出とペーパーテストはともに必須事項。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】久米東邨編著『書道芸術（漢字編）』（萱原書房）

科目名	基礎書道		
担当教員名	小林 弘子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は漢字を美しく正しく書くことを学習します。日常的には毛筆は使われなくなりましたが、一字一字毛筆で習うことは、硬筆で練習するよりずっと効果があります。書道史で漢字の発生から現代使われている文字になるまでの過程を学び、漢字の知識や漢字の美しさへの感覚などを深めていきます。漢字は楷、行、草書などの書き方があります。まずは楷書から基本的な筆法を学習し、行・草書へ進みます。行草体を正しく読めるようにすることも目標の一つです。細楷の練習として、心経を写経し、大きな作品として条幅に揮毫します。

内容

1	1. 授業の仕方と準備する用具について	16. 条幅作品の鑑賞・写経の提出
2	2. 基本筆法の演習 (No1、2、3)	17. 集王聖教序の説明と臨書練習
3	3. 基本筆法の演習 (No4、5、6)	18. 書道史 (殷代) 集王聖教序の臨書の続き
4	4. 孟法師碑の臨書と解説 (楷書)	19. " (周代) 枯樹賦の解説と臨書
5	5. 同上の続き	20. " (秦代) 同上続き
6	6. 九成宮醴泉銘の臨書と解説	21. " (日本の三筆) 風信帖の解説と臨書
7	7. 同上の続き	22. " (漢代) 乙瑛碑 (隷書)
8	8. 孔子廟堂碑の臨書と解説	23. " (三国時代) 建中告心帖の解説と臨書
9	9. 蘭亭序の臨書と解説 (行書)	24. " (東晋時代) 同上続き
10	10. 同上の続き	25. " (北魏) 祭姪稿の解説と臨書
11	11. 写経 (書き方の説明と界線を引く)	26. " (北魏) 十七帖の解説と臨書 (草書)
12	12. 心経を書く	27. " (隋) 同上 続き
13	13. 同上	28. " (初唐) 書譜の解説と臨書
14	14. 条幅作品 (下書を書く、配置等の説明)	29. " (中・晩唐) 同上続き
15	15. 条幅作品 (半切に書く)	30. まとめ 全作品を綴じる

評価

各法帖の清書・写経・条幅等、作品による評価60点、ペーパーテスト30点、受講態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】久米東邨編者『書道芸術 (漢字編)』(萱原書房)

科目名	日本文学史（古代）		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

私たちの祖先はどのような文学を生み出し、それをどのように発展させていったのか。この科目では、古代日本の歴史や文化の流れをたどりながら日本文学の始まりとその展開について学びます。

上代・中古文学の代表的な作品を時代順に取り上げ、それぞれの作品が生まれた必然性と文学史的な価値について学習します。さらに時間があればできるだけ原文を読んで、古典文学の醍醐味を部分的にでも味わいたいと思います。

文学の発生に始まって、文学史上の最高峰の一つと言われる『源氏物語』が生まれるまで、さらにその後、中世へ引き継がれていくまでの文学史の流れを学び、日本人の精神的活動の歴史を知ることが目標とします。

内容

1	ガイダンス・文学のはじまり
2	上代文学の時代区分と歴史的背景
3	現存最古の書『古事記』
4	最初の和歌集『万葉集』
5	その他の上代文学
6	中古文学の時代区分と歴史的背景
7	勅撰和歌集の誕生～『古今集』を中心に～
8	作り物語の世界～『竹取物語』を中心に～
9	歌物語の世界～『伊勢物語』を中心に～
10	日記文学の誕生～『土佐日記』
11	女流日記文学の世界～『蜻蛉日記』以降～
12	後宮社会と孤高の随筆『枕草子』
13	『源氏物語』と後期物語
14	歴史物語と説話文学
15	その他の中古文学・まとめ

評価

平常点30点とペーパーテスト70点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情で試験を欠席した場合は追試を、平常点を満たした上で60点に届かなかった場合は再試を一度だけ行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講後、指示します。

科目名	日本文学史（古代）		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

私たちの祖先はどのような文学を生み出し、それをどのように発展させていったのか。この科目では、古代日本の歴史や文化の流れをたどりながら日本文学の始まりとその展開について学びます。

上代・中古文学の代表的な作品を時代順に取り上げ、それぞれの作品が生まれた必然性と文学史的な価値について学習します。さらに時間があればできるだけ原文を読んで、古典文学の醍醐味を部分的にでも味わいたいと思います。

文学の発生に始まって、文学史上の最高峰の一つと言われる『源氏物語』が生まれるまで、さらにその後、中世へ引き継がれていくまでの文学史の流れを学び、日本人の精神的活動の歴史を知ることを目標とします。

内容

1	ガイダンス・文学のはじまり
2	上代文学の時代区分と歴史的背景
3	現存最古の書『古事記』
4	最初の和歌集『万葉集』
5	その他の上代文学
6	中古文学の時代区分と歴史的背景
7	勅撰和歌集の誕生～『古今集』を中心に～
8	作り物語の世界～『竹取物語』を中心に～
9	歌物語の世界～『伊勢物語』を中心に～
10	日記文学の誕生～『土佐日記』
11	女流日記文学の世界～『蜻蛉日記』以降～
12	後宮社会と孤高の随筆『枕草子』
13	『源氏物語』と後期物語
14	歴史物語と説話文学
15	その他の中古文学・まとめ

評価

平常点30点とペーパーテスト70点で、60点以上を合格とする。

やむをえない事情で試験を欠席した場合は追試を、平常点を満たした上で60点に届かなかった場合は再試を一度だけ行います。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】開講後、指示します。

科目名	日本文学史（中世・近世）		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状（国語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日本文学史のなかで、＜中世文学史＞と＜近世文学史＞を、歴史的にあとづけながら、その時代に生きた作者や創作された作品を、大きな視野で眺めてゆく。

＜中世文学史＞は鎌倉・南北朝・室町・安土桃山時代という戦乱の世であり、＜近世文学＞は江戸時代という泰平の世の文学史である。序において各文学史の特色をまとめ、そのあとで韻文・散文・その他という順序で学んでゆく。

それぞれの時代背景の影響を色濃くうけて、さまざまな個性の作者が固有の文学を残している。時代精神と文学の関係を考えながら、「中世とは何か？近世とは何か？」というテーマを自分なりに、追いかけてほしい。また文学史を学ぶ意義もあわせて考えてゆきたい。

内容

1	<文学史とは>
2	<中世文学史>の序 -時代区分・時代背景・特色
3	A 韻文 ・和歌
4	韻文 ・連歌、俳諧の連歌 ・歌謡
5	B 散文 ・擬古物語 ・歴史物語 ・軍記物語
6	散文 ・説話文学 ・日記、紀行、随筆 ・御伽草子
7	C その他 （能、狂言・法語、五山文学）
8	作品鑑賞（DVD）
9	<近世文学史>の序 -時代区分・時代背景・特色
10	A 韻文 ・和歌 ・狂歌
11	韻文 ・俳諧 ・川柳
12	B 散文 ・仮名草子 ・浮世草子 ・前期読本 ・洒落本
13	散文 ・草双子 ・後期読本 ・合巻 ・滑稽本 ・人情本
14	C その他 （浄瑠璃、歌舞伎・国学）
15	まとめ 作品鑑賞（DVD）

評価

通常の授業態度（20点）、レポート（80点）により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】【推薦書】いずれも、開講時に指示する。テキストはよりビジュアルなものを選ぶ。

科目名	物語文学の世界		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

平安時代に出現した仮名散文による初めての文学作品が物語です。『竹取物語』に始まる物語文学は、『源氏物語』に至って文学史上最高とも言える位置に至りました。1000年もの間、時代を超えて伝えられ、現代にも読み継がれている物語文学を取り上げ、学びます。

日本を代表する物語文学といえば、なにはともあれ『源氏物語』でしょう。物語の概要を把握した上で、部分的に原文を鑑賞しながら、限られた授業時間の中で、できるだけ作品に触れるようにします。永遠の古典を、原文を味わいながら一緒に読んでいきましょう。

『源氏物語』が時には映画や漫画や宝塚歌劇など様々なメディアを通して現代に受け入れられているのは、人間の心の真実が時代を超えて伝わってくるからです。それこそ作者紫式部がこの物語を書いた目的でした。受講生は授業を通して紫式部の思いをとらえてみてください。それは、各自の人生観を見つめ直す契機になることと思います。

内容

使用するテキストは、物語中のいくつかの場面をピックアップしながら全体の概要がわかる形になっています。以下、テキストの目次に沿って、各時間の授業内容を書いておきます。

- 1 ガイダンス 2 作者について 3 作品の概要 4 物語の始まり
- 5 桐壺の更衣(桐壺巻) 6 雨夜の品定め(帚木巻) 7 隈なき月影(夕顔巻)
- 8 紫のゆかり(若紫巻) 9 若紫の君(若紫巻) 10 心の鬼(紅葉賀巻)
- 11 車争い(葵巻) 12 野宮の一夜(賢木巻) 13 心づくしの秋(須磨巻)
- 14 母子の離別(薄雲巻) 15 前期まとめ
- 16 金の岬(玉鬘巻) 17 鶯の初音(初音巻) 18 栄華への道(藤裏葉巻)
- 19 第2部の始まり 20 女三宮降嫁(若菜上巻) 21 桔縁(柏木巻)
- 22 罪の子(柏木巻) 23 落葉の宮の不幸 24 萩の上露(御法巻)
- 25 形見の文殻(幻巻) 26 第3部の始まり 27 髪の香(総角巻)
- 28 あやふき契り(浮舟巻) 29 宇治の川音(浮舟巻)
- 30 夢の世(夢浮橋巻);総まとめ

評価

前期の終りにレポート、後期の終りにペーパーテストを課します。

平常点40点、ペーパーテストとレポート60点で、60点以上を合格とします。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を行います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】秋山虔他編『源氏物語読本』筑摩書房

【参考図書】『源氏物語』の参考文献はとてたくさんあるので、授業で適宜紹介します。

科目名	中古文学論		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

中古文学とは平安時代の文学です。平安時代は王朝文化が最も栄えた時代であり、有能な女流作家が多く生まれました。彼女たちはなぜこの時代に作家となり、何を書き残したのか、それを学んでいきます。

平安時代の代表的な女流文学の一つ『枕草子』を取り上げます。「春はあけぼの」で有名な清少納言の作品です。短くてテンポの良い文体、作者の繊細で鋭い観察眼には現代人も驚き、共感をいただきます。また、そこに綴られた中宮定子の逸話は後宮文化の象徴として輝いています。まず、『枕草子』の原文を読んで作品を耳で味わいます。そして、周辺資料から作品に書かれていない歴史的背景を探ることによって、より深く『枕草子』を知ります。時には清少納言になったつもりで現代版の類集段創作を試みてみます。

『枕草子』は和歌でも物語でもない、まったく新しい形態の作品です。このような作品がなぜ生まれたのか、その理由を作者の側と時代背景から探っていくのがこの授業のねらいです。授業を受けた後に、これまで知っていたものとば別の『枕草子』の世界を垣間見てほしいと思います。

内容

作者清少納言が宮仕えに入り、中宮定子や同僚の女房たちと交流を深めていった年月にそって、日記的章段と呼ばれる章段を取り上げて読んでいきます。また、季節の風物を観察した随想段、人間観察が鋭い類聚段なども適宜取り上げ、一年間の授業を通して枕草子の全体像がとらえられるようにしたいと思います。

1 ガイダンス	16作品講読；にくきもの
2 作者について	17作品講読；ねたきもの
3 作品について 成立の事情	18時代背景について 歴史
4 作品について 内容について	19時代背景について 文化
5 作品講読；初宮仕え	20作品講読；斉信登場
6 作品講読；初宮仕え	21作品講読；清少納言の里下がり
7 作品講読；初宮仕え	22作品講読；職御曹司時代
8 作品講読；木の花は	23作品講読；職御曹司時代
9 作品講読；鳥は	24作品講読；職御曹司時代
10作品講読；清涼殿の春	25作品講読；虫は
11作品講読；清涼殿の春	26作品講読；行成登場
12作品講読；山は	27作品講読；今内裏時代
13作品講読；うつくしきもの	28作品講読；三条宮時代
14作品講読；うれしきもの	29作品講読；中宮定子崩御
15前期まとめ	30一年間の総まとめ

評価

前期、後期共にペーパーテスト、またはレポート課題を行い、レポート40点、ペーパーテスト40点、平常点20点で評

値し、総合60点以上を合格とする。

やむをえない事情でペーパーテストを欠席した場合は追試験を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【推薦書】いずれも開講後に指示する。

科目名	近世文学論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間はなぜ旅にあこがれ出てゆくのでしょうか？<人間にとって旅とは何でしょうか？>あなたはどんな時に、日本の、世界の、宇宙の、他次元の、何処へ旅に出てみたいですか？比較文化的な視座から西洋と東洋のさまざまな旅の軌跡をたどってみましょう。巨視的な視野のなかで、<西洋と東洋の旅の文学>、また<芸術にとって旅とは何か？>を考えながら、楽しく読んで行きましょう。

日本の近世(江戸時代)には、<泰平の世>において多くの紀行文が書かれ、『国書総目録』によると数千の膨大な紀行文があります。女性たちの温泉紀行もかかれ、上田秋成は家に居ながらにして架空紀行『去年の枝折』を書きました。そして、西行にあこがれながら芭蕉は5つの紀行文を書きました。<「おくのほそ道」は、一つの大きな詩である>とも言われています。芭蕉はどんなオリジナルな紀行文を表現したのでしょうか。

それに対して、ゲーテは『イタリア紀行』を、セルバンテスは『ドンキホーテ』を書きました。海外の旅を素材とした紀行芸術を鑑賞するところにより、日本の近世の芭蕉の紀行文の固有の想像力を考えてみましょう。

内容

1	<序 詩にとって旅とは何か・西洋と東洋の旅の文学>
2	サン・テグジュペリ『星の王子様』
3	ゲーテ『イタリア紀行』
4	セルバンテス『ドン・キホーテ』
5	スウィフト『ガリバー旅行記』と宮崎駿『天空のラピュタ』
6	アンデルセン『スウェーデン紀行』
7	<日本の紀行文学>
8	『土佐日記』『徒然草』
9	『東海道中膝栗毛』と『西洋道中膝栗毛』
10	<松尾芭蕉の紀行文> ギャグ・マンガ日和とカノン化
11	松尾芭蕉の生涯と『おくのほそ道』の成立
12	『おくのほそ道』各章段
13	登場人物・自然描写・雅と俗
14	全体の構成
15	深川芭蕉記念館・江戸資料館・京都芭蕉庵などの紹介

評価

評価は、平常点(20点)レポート(80点)を合計し、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 頼原退蔵・尾形竹訳注『新版おくのほそ道』(角川ソフィア文庫)

その他、各紀行文については、プリントを配布する。また、参考文献は、授業で紹介する。

科目名	現代文学論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

テーマは「文学の教養A to Z」

アメリカの作家A・ピアスの奇書『悪魔の辞典』のなかから、26のキーワードをえらび、近代文化の後進国・ニッポンの姿を焙りだします。

文学者の視点に立つと、どのような世界がみえるのか。合理的な社会分析とは異なる、主観と自意識に彩られた歪んだ世界、それでいて真理を穿つ視点。社会における文学の位置づけを考えると同時に、文学者の視野から見える社会を知ること、思考の柔軟性と批評力を鍛えます。

内容

1	プロローグ：『悪魔の辞典』について
2	Ambition(野心)/Back(背中)：日本初の“近代文学”について
3	Christian(キリスト者)/Decalogue(十戒)：作家の教養について
4	Eavesdrop(立ち聞き)/Female(女性)：“小説”の起源について《その1》
5	Grammar(文法)/Habit(習慣)：“小説”の起源について《その2》
6	Interpreter(通訳)/Joss-sticks(中国線香)：輸入文化について《その1》
7	Kilt(キルト)/learning(博識)：輸入文化について《その2》
8	Multitude(群衆)/Notoriety(悪名)：通俗について《その1》
9	Oblivion(忘却)/Platitude(陳腐)：通俗について《その2》
10	Quotation(引用)/Reality(実在)：前衛について
11	Serial(続き物)/Type(活字)：メディアと作品について《その1》
12	Usage(慣用法)/Virtues(美德)：メディアと作品について《その2》
13	War(戦争)/Xanado(ザナドゥ)：論理について
14	Yesterday(昨日)/Zigzag(ジグザグ)：物語について
15	エピローグ：総括

評価

毎回のリアクション・ペーパー(50%)、学期末レポート(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

アンブローズ・ピアス『悪魔の辞典』(角川文庫、ISBN 978-4-04-236401-6-C0197)

その他毎回の授業時にプリントを配布。

科目名	幻想文学論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本文学に関する専門選択科目の講義の一つです。近現代文学論や民俗文化論と関連します。

みなさんは「幻想文学」と聞いてどのような文学作品を思い浮かべるでしょうか。荒涼とした古城に夜な夜なあらわれる亡霊、異世界からの来訪者、現実とは思えない幻想的なモノたちをめぐる物語……。もっとも「文学」を人間の観念による営みと考えれば、「文学」はなにがしかの幻想に基づいているということもできます。「幻想」とはどのようなものをさすのでしょうか。

この講義では、「幻想文学」とはどのような特徴を持つ文学なのか、を考えながら、幻想文学の作品を読み解きます。具体的には、西洋的な近代小説とはやや遠いところに位置づけられる、声や身体による伝承と深くつながりを持ち、民俗的な想像力を豊かな土壌として生み出されたと考えられる文学作品を扱います。

近代的な文学概念をふまえ、文学史的な幻想文学の位置づけを理解し、民俗的想像力と近代の文学の関係を把握することが学修目標です。

内容

- (1) 文学と民俗学と想像力
- (2) 幻想文学とは何か(その一)
- (3) 幻想文学とは何か(その二)
- (4) 日本の幻想文学の系譜(その一)
- (5) 日本の幻想文学の系譜(その二)
- (6) 泉鏡花『高野聖』 異界への誘い(その一)
- (7) 泉鏡花『高野聖』 異界への誘い(その二)
- (8) 小泉八雲『怪談』 精霊の住む国の物語(その一)
- (9) 小泉八雲『怪談』 精霊の住む国の物語(その二)
- (10) 宮沢賢治『なめとこ山の熊』 動物と人間の交歓(その一)
- (11) 宮沢賢治『なめとこ山の熊』 動物と人間の交歓(その二)
- (12) 深沢七郎『榎山節考』 棄老の伝説と真実
- (13) 深沢七郎『榎山節考』 棄老の伝説と真実
- (14) 近代文学と民俗的想像力
- (15) まとめ

講義内容は必要に応じて変更することがあります。

評価

レポートまたは試験 6 割、授業時の小レポート・提出物など 4 割の配分で評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。取り上げる予定の作品はできるだけ事前に読んでおいてください。

科目名	説話の世界		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

日本文学・日本文化に関する専門選択科目の講義の一つです。日本の文学史（古代・中古）（中世・近世）（近・現代）、近現代文学論や日本の芸能論、民俗文化論と関連します。

近年、夢枕獏の小説『陰陽師』をひとつの契機として、小説・コミック・テレビ・映画・ゲームなどのさまざまなメディア（＝表現世界）では、安倍晴明（あるいは陰陽師）が主役となり脇役となりして活躍しています。式神を駆使し、呪術によって悪鬼・怨霊を鎮める活躍ぶりはまるで架空の人物のようですが、晴明は平安時代中期に実在した陰陽師です。なぜ彼はそうした異能の呪術者として説話化されることになったのでしょうか。本講義では、陰陽道の基本思想・形成過程を概観したうえで、安倍晴明説話を具体的に読み、説話の生成と変容の過程を考えます。

日本の陰陽道の概要・平安時代中期の陰陽師の活動をふまえて、実在の安倍晴明を把握し、説話のなかの晴明像の生成と変容の様相を理解することが学修の目標です。

内容

- (1) 『陰陽師』・陰陽道占いブームと現代
- (2) 陰陽・五行思想の概要
- (3) 古代国家と陰陽・五行思想
- (4) 平安京と陰陽道
- (5) 平安貴族の精神世界
- (6) 日記・記録の中の晴明
- (7) 『今昔物語集』『宇治拾遺物語』の中の晴明
- (8) 説話化される晴明
- (9) 狐の子伝承の生成
- (10) 語り物のなかの晴明
- (11) 歌舞伎のなかの晴明
- (12) コミックスのなかの晴明
- (13) 映画化される晴明
- (14) 各地の晴明伝承
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

評価 レポート4割、試験4割、平常点（授業時の小レポート・提出物など）2割の配分で評価します。合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しません。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。取り上げる予定の作品はできるだけ事前に読んでおいてください。

科目名	おとぎ話と紙芝居		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

遙かかなたの子どもの日々の、お気に入りの場所で貴女はどんなおとぎ話や紙芝居を楽しんだろう。小澤俊夫氏は『昔話入門』のなかで、「人間存在の真相を示す昔話」とその本質を述べている。また、マックス・リュートィは、ヨーロッパの昔話について、「昔話はどんな材料でも簡潔にまとめ、純化してしまう様式形態をもった含世界性の冒険物語である」と語っている。さあ、もう一度子ども時代に親しんだ日本のおとぎ話や世界の昔話を、楽しく研究してみよう。

日本のおとぎ話の源流は、中世文学のお伽草子で、その本文を味わってみたい。そして、現代の本文と比較・分析してみよう。また、紙芝居は、日本のオリジナルな文化である。タイにも文化輸出され、タイでも紙芝居が作られている。昭和初期から戦争中の紙芝居で、所蔵品を鑑賞し考究してみる。ヨーロッパや、アジア各地の児童文学を鑑賞してゆきたい。

最終目標としては、<おとぎ話や紙芝居の研究>とともに<朗読><創作>も行いたい。パフォーマンスをいかに自然に行うかも学びたい。アジアや世界の子どもたちの文化を、現代のVTRやDVDで、リアルタイムに味わってみる。民族の根幹に触れる個性を考えたい。

内容

1	序 世界の昔話 美智子さま『橋をかける』講演記録
2	<日本の御伽草子・日本の昔話・現代のおとぎ話>の比較
3	一寸法師・鉢かづき・物くさ太郎など
4	<世界の昔話・童話>
5	グリム兄弟とグリム童話
6	ペローの作品
7	アンデルセン童話
8	<日本の紙芝居の歴史と実演>
9	第二次世界大戦中の作品からアンパンマンまで
10	<世界の創作童話>
11	不思議の国のアリス
12	オズの魔法使い
13	<朗読レッスン>OGゲスト(声優)
14	<課外授業>国際子ども図書館見学
15	まとめ

評価

評価は平常点(20点)、レポート(80点)で行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】授業中にプリントを、毎回配布する。

【推薦書】小澤俊夫編著『昔話入門』（1997年、ぎょうせい）

【参考文献】ロジェ・カイヨワ著、多田・塚崎訳『遊びと人間』（1990年、講談社学術文庫）

市古貞次校注『御伽草子（上・下）』（1985・86年、岩波文庫）

科目名	民俗文化論		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の文化に関する専門選択科目の講義の一つです。比較民俗論、日本の宗教文化と関連します。

私たちは最先端の高度情報化社会を生きていますが、一方でお正月には餅を食べ、初詣でに行き、高層ビルを建てる際には地鎮祭をするなど、昔からやっているからと何気なく行っていることがたくさんあります。このように繰り返される伝統的な生活習慣や意識を探るのが 民俗学 といつてよいでしょう。したがって民俗学を学ぶことは私たち自身のありかたを見つめ直すことでもあります。この授業では、総論として日本民俗学の理論と方法のおおよそを学び、さらにその成立と展開について、日本民俗学の生みの親柳田国男の生涯と思想の問題と関連させながら考えて行きます。

民俗学の学問としての基礎として、その対象・方法・目的を理解することが学修目標です。

内容

- (1) 身近にある民俗・民俗学の魅力
- (2) 民俗学的発想について
- (3) 民俗 という語
- (4) 民俗 の中身・範囲
- (5) 常民 と 常民性
- (6) フィールドワークとデスクワーク
- (7) 重出立証法と方言圏論
- (8) 日本の祭りと神
- (9) 民俗と映像
- (10) 柳田国男と日本民俗学の生成
- (11) 民俗学以前(他界への願望と経世済民の志向)
- (12) 民俗学の胎動(異族としての山人)
- (13) 民俗学の確立(稲と常民のいる日本)
- (14) 折口信夫の学問
- (15) まとめ

講義の内容・順序は必要に応じて変更することがあります。

評価

筆記試験 7 割、レポート・提出物など 3 割、60 点以上を合格とします。

合格点に満たなかった場合、「再試験」を実施する予定です。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は指定しません。読書レポートの対象はできるだけ購入して下さい。

参考図書は必要に応じて授業中に紹介します。

参考文献：民俗学の概論書としては、柳田国男『郷土生活の研究法』（ちくま文庫『柳田国男全集』）、柳田国男・関敬吾『日本民俗学入門』（復刊・名著出版）、和歌森太郎『日本民俗学』（弘文堂）、上野和男他編『民俗研究ハンドブック』（吉川弘文館）、福田アジオ他編『日本民俗学概論』（吉川弘文館）など。そのほか参考文献は授業中随時紹介します。

科目名	小説入門		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

小説の読解や小説の理論を学び、自身の創作に活かす。 小説を実作し、全員の作品を一冊の創作集にする。その創作集をもとに相互批評(合評会)を行う。すぐれた作品から、小説の技術や方法を学び、レポートをしてもらう。小説の理論などについても学習する。 小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて、表現能力を養う。全員が創作集に載せる作品を創作することで、創作の技法を向上させる。

内容

受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各人の創作モチーフが優れた作品として具現できるようにする。

優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業でとりあげ、その技法や理論を各自が自作に反映させるように試みる。自分自身で実際に小説を創作することを通じて、文学作品に対する読解の深化を図る。さらに、そのことが自身の創作に反映するというような、相乗的文学理解が得られるようになる。

小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り(文体)の選択などの基礎作業を踏まえた上で、実作において各自の表現技術を向上させる。

作品に対する客観的な批評尺度が身につくようになる。

評価

実際に創作した作品を提出してもらう。その後、合評会で相互評価を行う。合評会の成果をレポートしてもらう。また、文学作品を読解し、その表現技法などもレポートしてもらう。創作物の提出60%、授業への参加40%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は授業中に指示する。参考書として手軽に入手できる入門書は、中条省平『文章読本 文豪に学ぶテクニク講座』(中公文庫、2003)高橋源一郎『一億三千万人のための 小説教室』(岩波新書、2002)清水良典『2週間で小説を書く!』(幻冬舎新書、2006)岡崎宏文・豊崎由美『読まずに小説書けますか』(メディアファクトリー、2010)など。

科目名	近現代の文化		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

急速に外来文化が入り、社会の価値観が変わっていった明治以後の日本では、西洋化することに、それなりに器用に順応できたエリートよりも、むしろ時代の変化のスピードにとり残されてきた人々のほうが、圧倒的に多かったのが実情です。しかしそんななかから、いや、むしろそんななかからこそ、身についた感性にしたがった、独特の文化が、数多く生み出されてきました。

本講座は、そうした過去から現在にいたるユニークな庶民文化の諸相をとりあげながら、そこに横たわる根源的な問題を見つめ直すことで、「エリート文化」や「大衆文化」といった既成の枠組を越えた地平から、これからの「人間文化」のあり方について、みなさんに考えてもらうことを目的としています。

内容

1	「らしさ」の文化論
2	ダンディの戦略
3	過去と戯れる人々
4	エキゾチック・ジャパン
5	いつもそこにあったという感覚
6	ピエール・カルダンと未来の廃墟
7	俗謡の聴き方
8	夜の領域
9	好物はスキャンダル
10	ヤンキーはどこへ消えた？
11	ソースの話
12	ダーチャの話
13	ユーラシアの話
14	内側の細部
15	総括

評価

各自がどれだけ自分の頭で考えているかということの評価します。評価点数は、毎回授業時に提出するリアクション・ペーパー(50点)、学期末レポート(50点)。合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	日本の歴史		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目はコース選択科目(専門教育科目)である。

科目の概要

本科目は、日本社会の歴史について学ぶものである。今年度は、とくに「現代史」に焦点を当てて授業を構成する。主に「昭和史」を概観し、世界と日本がどのような関係を持ってきたのか、満州事変以降の「大東亜戦争」の本質は、何だったのかを考察する。貴重な記録映像を活用し、視聴覚的なアプローチを試みる。

学修目標

本科目の学修目標は、以下のとおりである。昭和史の概要について理解することができる。映像視聴を通して理解を深化させることができる。現代史について自分の見解をまとめることができる。

内容

1. 「昭和」という時代のはじまり
2. 昭和恐慌と満州事変の勃発
3. 不安な時代と大衆文化の動向
4. 対中国戦争の本格化
5. 日中戦争と戦時体制の強化
6. 庶民文化の統制 学問・思想への弾圧
7. 太平洋戦争と破局への道
8. 第二次世界大戦の勃発と欧州の情勢
9. 初期「太平洋戦争」 真珠湾への道 マレー半島攻略 大東亜共栄圏構想
10. ガダルカナル島の戦闘 中部太平洋での失策と無謀な戦線拡大
11. インパール作戦の実態
12. サイパン島陥落に至る諸問題
13. 硫黄島・沖縄の「玉砕」とポツダム宣言受諾への道程
14. 連合国(アメリカ主体)による「占領政策」と日本文化の動向
15. まとめ

評価

視聴カード30点、レポート20点、筆記試験50点の配点で、合計60点以上を単位認定する。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 使用しない。授業中に随時プリントを配布する。

【参考図書】 岩波新書、講談社現代新書などに関連図書が多数刊行されている。また、高等学校で使用した「日本史」の

文部科学省検定済み教科用図書は重要な資料となる。

科目名	中国文学		
担当教員名	清水 信子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、中国古典文献について、漢文訓読法や、事典、辞書などの工具書類の使い方を修得しつつ読解し、その世界観や日本文学との関係性について概観していきます。

科目の概要

文学に限らず、歴史、思想等々中国の古典文献は、日本の古典文学にも影響をもたらし、日本文学を研究する上で無視できません。そこで本科目では、中国の古典文献全般について、その概要を理解するとともに、その中から身近な文章を中心として、漢文の句形、語法等漢文訓読法や、辞書、事典、参考文献等の工具書類の活用法を修得しつつ、読解していきます。

尚、前期科目「漢文学を読む」を履修していることが望ましいですが、授業の過程、進度は、受講生の履修歴、漢文習熟度等に配慮して進めていきます。

学修目標

漢文読解の基礎知識である漢文訓読法、工具書類の活用法を修得するとともに、中国古典文献の世界を概要を理解するようにします。

内容

1	ガイダンス
2	中国古典を読むための基礎知識(1)
3	中国古典を読むための基礎知識(2)
4	中国古典を読むための基礎知識(3)
5	中国古典を読むための基礎知識(4)
6	中国古典の文章を読む(1)
7	中国古典の文章を読む(2)
8	中国古典の文章を読む(3)
9	中国古典の文章を読む(4)
10	中国古典の文章を読む(5)
11	中国古典の文章を読む(6)
12	中国古典の文章を読む(7)
13	中国古典の文章を読む(8)
14	中国古典の文章を読む(9)
15	まとめ

評価

平常点(授業時の小テストなど)40% 期末試験60% 60%以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書・テキスト...授業時に指示します。

推薦書...斎藤希史『漢文脈と近代日本 - もう一つのことばの世界』（NHK出版 / 2007）

斎藤希史『漢文スタイル』（羽鳥書店 / 2010）

参考図書...漢和辞典必携。その他、授業時に適宜紹介します。

科目名	比較文化論		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では、フランス出身の日本学者・俳人・エッセイストである担当教員と共に、東西の詩歌（俳句、西洋詩、民謡、国際ハイク等）を具体的に扱い、日本詩歌と西洋詩との相違点・共通点を検証してゆく。同時に、文化論への広がりを目差し、日本文化全般にみる特質、あるいは普遍性を再発見してゆく。

内容

前期では授業の一角として担当教員の自伝的エッセイ「青眼句日記」（『一茶とワイン』、角川書店）を読み、後期では短編小説や俳句の実作指導も行います。また、ビデオを使ってオペラ、バレエ、短編映画などを参考資料にします。

前期 1：序説として、“余情的文化”（日本）と“叙情的文化”（欧米）の相異 2：海外連句批評、連句にみる日本文化の特質 3：江戸時代の日本文化とバロック・ローマン派芸術論、近代性とは何か？ 4：一茶の笑い、ベルグソンの「笑い理論」に基づいて 5：俳諧史にみる身分制度の歴史、フランスとの比較 6：ジェンダーと東西の文学 7：ポール・クローデルについて、西洋詩における「余情性」の可能性 8：詩歌における音韻の問題 9：日本文化における「聴覚」 10：日本文化におけるアニミズム的感性とエコロジーの問題 11：日本文化における「嗅覚」 12：西洋における日本文化の受容、文化間の対話をどのようにすすめるべきか？ 13：アラブ文化史、アジア諸文明における時間意識再考 14&15：まとめ

後期 1：「エスプリ」と「笑い」の違い、連句にみる「エスプリ」 2：現代俳句における古典（カノン化）と国際化の問題 3：諸国の民謡にみる普遍的な感性について 4：農村生活にみる普遍的な感性（葡萄酒の歴史、「風土の味」（terroir）とは何か？） 5：白鳥処女伝説、チャイコフスキー『白鳥の湖』を中心に 6：白鳥騎士伝説、ワグナー『ローエングリン』を中心に 7：農村におけるアニミズムとエコロジーの関係 8：十九世紀フランスの女性史（G・サンドを中心に） 9：幼児文学、子供俳句の国際化について 10～14：俳句の実作指導（句会） 合同句集作成 15：まとめ

評価

前期の終わりに、授業内容に基づくレポート（小論文）を課す。テーマの扱い方、構成（起承転結と論理性）、独創性を総合的に評価する。後期では口答試験と実習を行います。

前期80%、後期20%で、合格は100点満点のうち60点以上とする。出席は授業回数の3分の2を必要とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】マブソン青眼著『一茶とワイン - ふらんす流俳諧の楽しみ』（角川書店・2006）

【推薦書】マブソン青眼著『江戸のエコロジスト一茶』（角川書店・2010）

マブソン・ローラン著『詩としての俳諧、俳諧としての詩』（永田書房・2005）

科目名	精神文化論		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

なぜ人は占いをするのでしょうか。太古の昔から占いは人間の生活に欠かせないものでした。本講義では、占いについて様々な角度から検証し、日本文化における占いの歴史や意義を学びます。占いをめぐる文化事象を考察することで、人間の精神文化に対する理解を深めます。

内容

1	占いて何だろう
2	古代の占い 太占
3	古代の占い 亀卜・盟神探湯
4	古代の占い 易占の思想
5	古代の占い 易占の方法
6	中国起源の占い 式占
7	中国起源の占い 占星術
8	中国起源の占い 曆占
9	中国起源の占い 観相1
10	中国起源の占い 観相2
11	おみくじ色々
12	おみくじの発祥
13	おみくじの伝来
14	おみくじの流行
15	まとめ

評価

平常の受講態度(10点)、授業中に提出するリアクションペーパー(20点)、筆記試験(70点)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、プリントを配布します。

科目名	メディア・リテラシー		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちはいまどんな時代に生きているのか？ ずばりこんな大それた事を、考えてみたいと思います。といってもむずかしい話ではありません。みなさんの身の回りにある品々から、みなさんと「世界」とのつながりについて確認してみようということ、そして、どうしたら自分らしく生きられるか考えようというのが、この授業のねらいです。

内容

1	授業案内
2	メディアは二つの意味をはこぶ
3	我々は 状況 に囲まれている
4	メディアは意外と業が深い
5	メディアは欠落を付け足す
6	タイアップソングとブーム
7	音楽の肌触り
8	書を捨てよ、街へ出よ
9	外側の忘却
10	愛を映像化する
11	メディアとしての外国語
12	メディア社会と個人
13	メディアと物語
14	身の回りにある物語
15	総括

評価

毎回のリアクション・ペーパー50点、学期末レポート50点。合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

毎回の授業時にプリントを配布します。

科目名	日本語の世界		
担当教員名	上野 左絵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちが何気なく読み、書き、聞き、話している日本語。普段はほとんど意識せず使っているこの「日本語」を客観的に観察・分析する学問が「日本語学」です。当科目では日本語についての基本知識や日本語学の考え方を知り、ことばを観察する力を身につけることを目標とします。

内容

前期は日本語の構造について概説し、後期は主にことばの運用や研究テーマ別に講義したいと考えています。現代日本語を対象としますが、必要に応じて歴史的変遷にも言及します。

- (1) ガイダンス
- (2) (3) 世界の中の日本語
- (4) ~ (6) 音声・音韻
- (7) ~ (10) 文字・表記
- (11) ~ (14) 語彙
- (15) 前期のまとめ、理解度の確認
- (16) (17) 文の構造
- (18) ~ (21) 方言、社会言語学
- (22) ~ (25) 待遇表現(敬語)
- (26) (27) 気になる日本語
- (28) (29) 日本語教育(外国語としての日本語)
- (30) まとめ、理解度の確認

評価

授業中の小レポート(40%)、ペーパーテスト(60%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業時にプリントを配布。過去のプリントは再配布しませんので、なくさないようにしてください。

参考図書等は教場で指示します。

科目名	日本語文法（古典語）		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、日本文学（特に古典文学）の授業と関係する科目で、古典を読むために必要となる、基礎的な文法知識を学ぶこととなります。

現代語と古典語を比べた場合、意味の違い（古典語で「やがて」は「すぐに」だが、現代語では「そのうち」を意味する）、活用形の違い（古典語の「高し」は現代語では「高い」が終止形）など、様々な差異が認められます。古語辞典を活用しながら、それらを学習します。

古典文法の基礎を身につけること、古語辞典の適切な使い方を理解すること、などを学修目標とします。

内容

1	古語辞典の使い方
2	古典語における品詞
3	名詞（「山」「川」など）と代名詞（「これ」「それ」など）
4	動詞（「咲く」「消ゆ」など）について
5	形容詞（「高し」など）、形容動詞（「確か」など）について
6	副詞（「やうやう」など）、連体詞（「ある」など）について
7	接続詞（「すなはち」など）、感動詞（「あな」など）について
8	助動詞（「けり」「ず」など）
9	古典語の中の敬語
10	総合問題（「竹取物語」をテキストとして使用）
11	総合問題（同上）
12	総合問題（同上）
13	総合問題（同上）
14	総合問題（同上）
15	まとめ

評価

毎回の小テスト（5×14=70点）と試験（30点）で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

プリントを配布する。

科目名	日本語文法（現代語）		
担当教員名	中川 秀太		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、文章表現論や日本語の世界などの授業と関連し、日本語文法の基礎を学ぶこととなります。

日本で生まれ育った人にとって、日本語は使いこなせて当たり前のように思われるかもしれませんが、留学生や子どもから、日本語について質問された場合、それにうまく答えることができる知識をもっているでしょうか。たとえば、「友だちにあう」と「友だちとあう」はどちらも言えるが、「事故にあう」とは言っても「事故とあう」とは普通言いません。また、「札幌で遊ぶ」と「札幌を遊ぶ」という場合では、どのような違いがあるでしょうか。このような使い分けは、日本語の助詞の問題であり、文法の授業を通してこのようなことを理解することが求められます。

授業では、品詞や活用など、日本語文法に関わる基本的な事柄について学習し、ことばを客観的にながめる能力の習得をめざします。

内容

1	文法のイントロダクション（品詞と活用）
2	品詞のいろいろ（名詞と動詞、動詞と形容詞）
3	品詞のいろいろ（形容詞と形容動詞、形容動詞と名詞）
4	そのほかの品詞（連体詞、接続詞、副詞、助動詞）
5	格助詞（例：「～へ」と「～に」の違い、「～に住む」「～で暮らす」の「に」「で」など）
6	格助詞（例：「クマとあう」「クマにあう」の「と」「に」など）
7	活用（動詞の種類と動詞の「～ます」の形）
8	活用（動詞の「～ない」の形 [例：「書かない」「聞かない」など]）
9	活用（可能の表現 [例：「見れる」は誤用で「見られる」が正しいか、など]
10	ボイス（受け身文について [例：「～になぐられる」か「～によってなぐられるか」など]
11	ボイス（使役文について [例：「～に遊ばせる」か「～を遊ばせる」か、など]
12	人称（「ぼく」「私」など人称をあらわすことば）
13	人称（命令文、平叙文、質問文）
14	人称（「あげる」「くれる」「もらう」について）
15	まとめ

評価

毎回の授業における質問用紙への記入（5×14=70点）と試験（30点）により、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

野田尚史『はじめての人の日本語文法』くろしお出版、2200円

科目名	日本語の歴史		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の成立について通時的に観察し、ことばの変化とその要因を探る。また、現代語から切り離された過去の言語活動として、古い時代のことばを扱うのではなく、今の日本語への影響やその残存を意識しながら、日本語の成立を捉えていく。授業は講義を基本とし、日本語の成立において重要とされる内容を理解することが中心となるが、各種資料の具体的な検討を通して、日本語学的な資料の扱い方にも触れる。

内容

授業中に確認テストを実施します(3,4回の予定)。授業中に示される重要項目はきちんと復習しておきましょう。

1	ガイダンス
2	日本語の歴史を学ぶ意味
3	奈良時代の日本語
4	〃
5	平安時代の日本語
6	〃
7	鎌倉・室町時代の日本語
8	〃
9	江戸時代の日本語
10	〃
11	明治時代の日本語
12	〃
13	近代語から現代語へ
14	〃
15	まとめ

評価

授業中に実施する確認テスト(40%) 期末テスト(60%) 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】山口仲美(2006)『日本語の歴史』(岩波新書)岩波書店

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	ことばの文化		
担当教員名	星野 祐子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私達は日本語にかこまれて生活している。時空間を超えたやりとりを可能とするコミュニケーションツールとしては、PCメールや携帯メールなどがある。もちろん、対面場面であれば、私達は話しことばを介してコミュニケーションを行う。また、ことばの戦略的・意図的な使用としては、消費者に対し、商品の購入を促す広告がある。鑑賞の対象となる小説や随筆にも、書き手による意図的なことばの使用をみることができるだろう。

この科目では、私達に身近な日本語を取り上げ、日本語表現の多様性を探る。様々な表現に反映される日本文化や社会のあり方を一緒に考えていこう。また、身近で具体的な表現を材料とし、その表現の工夫や効果について、受講生が主体的に考え、調査し、発表する場面を設けたい。

内容

授業内に課す課題や話し合いに積極的に取り組んで下さい。また、日頃から身近な日本語表現に対して興味・関心を持って授業に参加して下さい。

1	ガイダンス
2	話しことばと書きことば
3	新しいコミュニケーションツールのことばについての分析
4	広告のことばの分析
5	日常会話の分析
6	目的をもった会話の分析
7	話しことばを分析してみよう
8	〃
9	小説の文体分析
10	新しい形態の文章の文体分析(ケータイ小説・ネット掲示板を始発とする小説など)
11	新聞記事の分析
12	随筆の分析
13	テーマを決めて分析してみよう
14	〃
15	まとめ

評価

授業中に課す課題(30%) 期末レポート(70%) 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】高崎みどり・立川和美編(2008)『ここからはじまる文章・談話』ひつじ書房

【参考図書】授業中に紹介する

科目名	漢文学を読む		
担当教員名	清水 信子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、漢文体の文章を読むための基礎知識である漢文訓読法や、事典、辞書類などの工具書類の使い方を修得しつつ、中国の古典を中心とした漢文の世界に触れていきます。

科目の概要

本科目における「漢文学」とは、中国の古典をはじめとした漢文体で書かれた文章全般を指します。漢文は、かつて日本でも一つの文体として使用され、また、中国古典に由来する故事成語が現代でも使われているように、私たちと無関係なものではありません。そこでそれら漢文の世界を知る第一歩として、本科目では、故事成語の出典としての中国古典文献など、比較的身近な文章から、その他各種多様な漢文体の文章について、漢文の句形、語法等の漢文訓読法を修得し、また辞書、事典、参考文献等の工具書類を活用しつつ、読んでいきます。

学修目標

漢文読解の基礎知識となる漢文訓読法や、工具書類の活用法を修得し、漢文体の文章を理解できるようにします。

内容

1	ガイダンス
2	漢文学を読むための基礎知識
3	漢文訓読法の基礎(1)
4	漢文訓読法の基礎(2)
5	漢文訓読法の基礎(3)
6	漢文体の文章を読む(1)
7	漢文体の文章を読む(2)
8	漢文体の文章を読む(3)
9	漢文体の文章を読む(4)
10	漢文体の文章を読む(5)
11	漢文体の文章を読む(6)
12	漢文体の文章を読む(7)
13	漢文体の文章を読む(8)
14	漢文体の文章を読む(9)
15	まとめ

評価

平常点(授業時の小テストなど)40% 期末試験60% 60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書・テキスト...授業時に指示します。

推薦書...斎藤希史『漢文脈と近代日本 - もう一つのことばの世界』（NHK出版 / 2007）

斎藤希史『漢文スタイル』（羽鳥書店 / 2010）

参考図書...漢和辞典必携。その他、授業時に適宜紹介します。

科目名	書を楽しむ		
担当教員名	小林 弘子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語を表記するのに漢字とかな文字を用いますが、一般文を書くのに、その6、7割はかな文字が占めています。この講座ではそのかな文字を美しく書けるようになることをめざします。平安時代、貴族文学の隆盛と共になかな文字の最高傑作が多数書かれました。それらは古筆といいますが、その中で現代文字に一番近い高野切古今集を臨書して、字形や線の美しさを学習します。他の古筆も演習し、かな文字への感性を広めていきます。そうした学修を生かし、色紙や条幅に揮毫し、合せて、雅印を作り、作品に押印し、完成を楽しみたい。

内容

1	1.かな書道用の用具・かな文字について説明	16.印面を整え布字する
2	2.基礎演習 いろは単体 小筆の書き方	17.印刀で彫り雅印を作り上げる
3	3.基礎演習 続け書(連綿体)の練習	18.和綴じをして落款をし、古今集をまとめる
4	4.基礎演習 変体がなの練習	19.色紙に俳句又は短歌を書く
5	5.蓬来切の臨書	20.粘葉本和漢朗詠集の臨書
6	6.半紙に短歌二首を書く	21.高野切古今集第一種の臨書
7	7.高野切古今集(第三種)原寸大(ロール紙)	22. " " 第二種 "
8	8. " を料紙に書く1枚目	23.元永本 " の臨書
9	9. " 2枚目	24.関戸本 " "
10	10. " 3枚目	25.寸松庵色紙三色紙について
11	11. " 4枚目	26.継色紙
12	12. " 5枚目	27.大字作品の練習条幅1/3作品(俳句)
13	13. " 6枚目	28. " 条幅(短歌雛形を書く)
14	14. " 7枚目	29. " " 書き上げる
15	15.8枚目に署名、雅印(大・小)の印稿を作る	30.まとめ 作品を綴じる

評価

各作品の評価60点、ペーパーテスト30点、授業態度10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】大東文化大学書道センター編『書道の古典』(二玄社)

【その他】教材費 約二千元程度必要です。かな用改良半紙は各自用意して下さい。

科目名	ミュージカル論		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

日本でもミュージカルに対する認識が、アメリカやヨーロッパなどと同じく最近変化してきている。

東京では劇場の数も、観劇人口も増え、外国の作品だけでなく、日本のオリジナル作品もたくさん上演されるようになってきている。

本講座では、文学・音楽・舞踊・演劇・美術の総合芸術としてのミュージカルの魅力を探る。オペラが起源といわれ、大衆娯楽文化から芸術文化になるまでの歴史を学ぶ。

特に音楽を中心に研究し、それぞれの時代の特徴を考察することをねらいとする。

また、ミュージカルの作品の中で、原作のあるものを取り上げ、原作と台本、同じような題材との違いを比較研究する。

内容

17Cに始まったオペラから発展していったといわれるミュージカルを、歴史を通して年代別・作品の形態別・作曲者別の傾向を考察したり対比し、分析する。

ひとつのテーマにつき、1～3週で講義を進める予定。

ミュージカルの歴史

1930年代・40年代・50年代・60年代・70年代・80年代・90年代・2000年代

日本のミュージカルの歴史

さまざまなミュージカルの形態について

ミュージカル音楽について（原語の歌詞と日本語歌詞の比較・音の入り方などを研究）

台本・音楽・舞踊などについて代表作品の分析

アメリカの作品について

イギリスの作品について

ヨーロッパの作品について

小説からの作品について

映画からの作品について

日本のオリジナル作品について

まとめ

2～3作品を実際に観劇予定

（今年度は5月ライオン・キング、11月未定）

評価

課題レポート（70%）、通常の授業態度（30%）三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。合格点に満たない場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜に本、プリント、DVD、CDなどを紹介する。

科目名	芸術文化論		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1.科目の性格

この科目は芸術文化コースの選択科目(専門教育科目)である。

2.科目の概要

本科目は、思想上における美と芸術に関する論題を、とくに「美学」の視点から眺めてみようとするものである。現代の日常生活の中では「価値」という座標軸がきわめて不透明になっている。本科目では、古今の思想家の「美的価値」についての理論を概観しつつ、「価値」という意味について考察することを試みる。

3.学修目標

本科目の学修目標は、次の3点である。 思想史における「美学」の位置づけを理解することができる。 とくに古典古代における「美学」の基盤にいて理解することができる。 自己の生き方に結びつけて「美学」の意義を捉えることができる。

内容

1. 「美学」という概念について
2. パウムガルテンという思想家の定義
3. 「美を創出すること」という意味と「天才的芸術家」の関係
4. ギリシア哲学における「美」の概念
5. 「カロカガチア」という言葉をめぐって
6. プラトンの「イデア論」と「芸術の創出」という問題
7. 「ミーメーシス」という概念の本質
8. アリストテレスにおける「美」の概念
9. 近現代の「美」の概念
10. カントの『判断力批判』における「美的体験」の分析
11. ベンヤミンの美学
12. 「コピー」、「模倣」そして「写真」という概念
13. 現代人にとっての「美的概念」とは何か
14. 21世紀における「美学」の新たな地平
15. まとめ

評価

レポート50点、筆記試験50点の配点で、合計60点以上を単位認定する。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 テキストは使用しない。適宜プリント等を配布する。

【参考図書】

今道友信編著『美学の歴史』（講座・美学の1）（東京大学出版会）

今道友信編著『西洋美学のエッセンス』（ペリカン社）

木幡順三著『美と芸術の理論』（勁草書房）

科目名	編集デザイン		
担当教員名	石黒 教子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

現代社会に暮らす私たちは、様々な表象（イメージ）に囲まれています。それらは「だれか」の意匠であり、知らないうちに私たちの無意識に入り込み、世界観が作られる要因にもなっているのです。時代や文化の異なる芸術作品、デザインなどを鑑賞しながら、その時代や文化を、想像力をもって推し量り、現在の自分の見方、考え方をつくる手助けになればと考えています。

文字や印刷術、映画、コンピュータによる映像など、メディアを軸に表現・表象（イメージ）の歴史をたどっていきます。表現は時代背景と密接に結びついています。歴史的な背景を考慮し、時代の「心」に少しでも近づけるよう展開していきたいと思っています。また、アーティストやデザイナーにとって、制作の原理 となっている、色彩論（カラーコーディネイト）や視覚心理などについて、簡単な演習を含めて展開していきます。

作品鑑賞や簡単な実習を伴っているため、出席して授業に参加することが重要です。

内容

- ・文字の歴史 アルファベットと漢字
- ・印刷術の発明
- ・ルネッサンスと遠近法
- ・19世紀の大発明「写真」と美術
- ・動く映像 アニメーション始まり
- ・写真から映画へ
- ・3D映像の原理
- ・色彩の原理と配色の練習
- ・ゲシュタルト心理学について
- ・西洋美術の歴史 キリスト教と美術
- ・中世から近代へ 神から人への視線変更
- ・世紀末のデザインと美術
- ・心理学が美術を変えた - シュルレアリスム
- ・現代の美術
- ・まとめ

評価

平常点30点、提出物等30点、期末テスト40点 により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず。毎回プリントを配布

科目名	演劇論		
担当教員名	藤澤 茜		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人々を魅了する演劇はどのように誕生し、継承されてきたのでしょうか。この問題を解明することは、日本の文化、風土、宗教観、国民性などを理解し、現代の私たちのルーツを探ることにもなります。

日本の伝統芸能の中でも歌舞伎を中心に取り上げて検証します。その理由は次の4点が挙げられます。

- (1)小説や浮世絵、落語等に影響を与えた歌舞伎を通じ、人々が演劇に求めた要素を検証できること。
- (2)神の祭りという宗教的性質があり、信仰と演劇という不可分の問題についても検討できること。
- (3)世界で初めて回り舞台を設置するなど、舞台技術、演出面でも多くの特徴がみられること。
- (4)現代のマスコミ同様社会現象を敏感に反映する姿勢から、大衆演劇の意義を明らかにできること。

科目の概要

能、狂言や西洋演劇、アジアの演劇との比較も行ない歌舞伎の本質を明らかにします。宝塚やミュージカル、アニメーションにも対象を広げ、エンターテインメントとしての演劇のあり方を検証します。

学修目標

- (1)歌舞伎を中心とした日本の芸能、世界の芸能についての基礎知識を学びます。文献調査などのレクチャーを経て、特に興味を持った演劇については各自が検証し、レポートとして提出します。
- (2)浮世絵を通じて歌舞伎の本質を探ります。浮世絵を持参する機会を設け、絵画の造詣も深めます。
- (3)ビデオ観賞を通じて、役者の演技、演出等の細かな部分にも理解を深めます。

内容

文献、脚本研究のほか、ビデオ観賞、絵画資料からの検証をまじえ視覚的に演劇をとらえて学びます。絵画資料については、主に浮世絵を取り上げます。2008年には浮世絵の検証をもとに元禄時代の上方の舞台復元(プロジェクトには藤澤も参加)が行われるなど、浮世絵は資料的な価値が高く歌舞伎研究には不可欠な資料です。

以下のスケジュールで授業を進めます。

ガイダンス・歌舞伎の特色と歴史

歌舞伎の舞台構造を知る～能舞台の模倣時代から現代のコクーン歌舞伎まで

芝居を創る 元禄上方和事復活上演までの軌跡

市川團十郎と江戸の信仰

人形浄瑠璃と歌舞伎 「義経千本桜」の狐忠信

能と歌舞伎舞踊 「道成寺」「土蜘蛛」など

歌舞伎と話芸 「仮名手本忠臣蔵」と落語

歌舞伎と広告 「外郎売」など

浮世絵に見る歌舞伎 歌舞伎役者の人気を知る

歌舞伎の海外公演 パリオペラ座公演・平成中村座ニューヨーク公演

歌舞伎と海外の演劇(1)京劇(中国)・パンソリ(韓国)等アジアの芸能

歌舞伎と海外の演劇(2)シェイクスピアと蜷川幸雄

海外の演劇 「ロミオとジュリエット」・ミュージカル「ウエストサイド物語」

現代の演劇 宝塚「ベルサイユのばら」に見る華麗な舞台

現代のアニメーション 「千と千尋の神隠し」と日本文化

評価

毎時間の授業に関するコメント提出と、学期末にレポート提出を課します。配点の比率は、授業時のコメント30%、レポート70%とし、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。【参考書】開講後に指示。

授業時には毎回プリントを配布します。

科目名	仏教美術		
担当教員名	平野 多恵		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

仏教に対する信仰から生まれた美術作品について学びながら、日本文化に対する教養を深める授業です。講義にあたっては、画像やVTRなどの視覚的な資料を用いて具体的に理解できるようにします。また、理解を深める資料として、神仏の登場する文学作品も適宜とりあげていきます。この授業では、仏像を中心として、日本の仏教と美術の関わり合いを明らかにしながら、仏像についての基礎知識を身に付けます。

内容

以下のようなテーマで講義を行います。

第1回 仏教とは？

仏教美術を生み出す母体となった仏教に関する基礎知識を概説します。

第2回 仏教美術とは？

仏教美術とはどのようなものを概観します。

第3回 仏教美術の発生

仏像をはじめとする仏教美術が作られるようになった背景を概説します。

第4回 仏像の世界

仏像の種類は「如来・菩薩・明王・天」の四種に大きく分けられます。それぞれの違いを解説しながら、仏教の世界観と仏像の種類について学びます。

第5～7回 如来

第8～10回 菩薩

第11・12回 明王

第13・14回 天

代表的な仏像を鑑賞しつつ、その背後にある信仰や教理、時代による制作技法の違い等を学びます。

第15回 まとめ

評価

平常の受講態度（10点）、授業中に提出するリアクションペーパー（30点）、学期末試験（60点）により総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストはプリントを用意します。

科目名	日本の芸術理論		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本の古典的な文学論・芸術論を、時代を追って眺めてゆく。西欧の芸術論はアリストテレスの『詩学』をその始祖とし、以後の芸術学や美学は哲学的方法と科学的方法等があったが、それらは体系的である。日本の文学論・芸術論はより実作に即して、片言隻語的であるが、そこになお珠玉のように光る芸術の真理を伝えていて、興味深いものがある。

能楽論の『風姿歌伝』には、「此の芸におひて、大方、七歳をもて、初めとす・・・うち任せて、心のまゝに、せさすべし」と初心者への稽古の注意を語っている。それぞれの文学論・芸術論の特色を楽しみつつ、原典に即して読んでゆく。

また、今道友信著『美について』を、副読本として毎回読みながら、日本と西洋の美学の研究史と基本文献を視野にいれつつ、授業を行ってゆきたい。

*授業の内容に関連して、都内の美術館見学を課外授業として行う場合もある。

内容

- 1・2 序 芸術論概論 日本と西洋 / アリストテレス『詩学』から
- 3・4 歌論 藤原公任『新撰髓脳』『和歌九品』 / 藤原清輔『奥儀抄』 美の発見(は『美について』)
- 5.6 歌論 藤原定家『毎月抄』 / 鴨長明『無名抄』 美の理解
- 7 連歌論 二条良基『連理秘抄』 / 心敬『さゝめごと』 芸術の力
- 8 連歌論 宗祇『吾妻問答』 / 宗長『連歌比況集』 芸術の理念
- 9 能楽論 世阿弥『風姿花伝』『申楽談儀』 芸術の源泉
- 10 茶道 『南坊録』 芸術の社会的機能
- 11 華道 『立花大全』『投入花伝書』 人格の美
- 12 俳論書 去来『去来抄』『旅寝論』 美の経験
- 13 俳論書 土芳『三冊子』 / 支考『俳諧十論』 最高の価値としての美
- 14 『作庭論』『五輪書』『古今役者論語魁』 VTR
- 15 番外編 マリア像の歴史的な変遷(ビジュアルに)

評価

平常点30点、レポート(または創作)70点 などの評価により、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】今道友信著『美について』(講談社現代新書324) / その他、毎回プリントを配布する。

【参考書】川勝平太著『美の文明をつくる』(ちくま新書・2002年)

九鬼周造著『「いき」の構造』(岩波文庫・1979年)

科目名	情報社会文化論		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

国語国文メディア表現コースの選択科目に位置します。情報社会のシステムを把握し、論じることについての正しい視点と自発的に表現することを学修します。

本講義では、現代社会で起きていることについて知ることから始め、社会の一員である自分の立ち位置を理解していきます。

現代社会は、さまざまな手段で情報を得ることが出来ます。テレビ・インターネット・新聞や雑誌などのさまざまなメディアを通じて、あらゆる人々が自由に発信し、生活の中に知らず知らずに入ってくるたくさんの情報。インターネットの普及等により瞬時に世界中の情報も得ることが出来ます。また携帯端末が充実し、ワンセグの登場によりインターネットのみならず、テレビ番組までも端末で見ることが出来る一方で、あふれんばかりの情報に背を向けて自分の録音・録画機器の世界に閉じこもる人もいます。いつでもどこでも、好きなだけ情報を得られるようになった今日だからこそ、より正しい情報を得られるように、感覚を研ぎ澄ましていきましょう。そのために、各メディアごとに検討し、情報を文化的にとらえる力を養い、情報社会に押し流されないように、知識を広げましょう。そして、新しい情報に翻弄されないよう、既存の文化を大切にしつつ、その上で新しい情報社会を正しく受け入れられるような方向性を一緒に考えていきましょう。

内容

1. 情報社会におけるメディアの役割
2. メディアを利用してできること
3. 各メディアが社会に与える影響力
4. メディアとは、なにか 効果のあるメディアの使い方とは・・・?
5. インターネットの普及によって社会はどう変化したか
6. 情報の流れのシステムについて
7. 正しい情報、正しくない情報はどのようにして生まれるか
8. 課題：現代社会で起きていることを自分の力で解説する
9. テレビとインターネットの、影響力の違い
10. 海外から見た日本のメディアとは
- 11~12. 時事用語について学び、社会を知る
13. 時事用語から見る世界の動き
14. 情報社会の実態 間違った情報
15. 復習と簡単なテスト

評価

毎回行う小レポートまたはディスカッションで70点(5点×14回)、最後に行うテスト10点、レポート20点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書・推薦書については、授業中に紹介致します。

教材は、最新の情報などを、毎回プリントで配布致します。

科目名	ライフデザイン		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

高齢社会は、多くの方が長生きできる社会であると同時に、加齢による生活変化が誰にでも予想しえる将来となったことによって、高齢者福祉（特に介護問題）を誰でもが共有する問題とすることができた。さらなる少子高齢社会は、人口減少社会でもある。価値観の多様化と格差の拡大によって、人びとは生活の豊かさという共通イメージをもつことがむずかしくなっている。そのような社会の変化のなかで、自らの未来をどのように予測し、準備するかを考えるのは、若い女性の自立に欠かせない。社会人として直面する生活課題への対応を、ライフデザインのなかにどのように位置づけるかを学ぶ。

内容

少子高齢社会の現状を理解し、社会保障や社会福祉の制度改革のもと、現代の若い女性のライフデザインを検討する。とくに、人生の節目（ライフステージ）ごとの社会サービスの利用の可能性を検討する。

- 1.女性のライフサイクル - 祖母の人生・母の人生
- 2.時代とライフステージ
- 3.-4.高学歴化と職業
- 5.-6.皆年金・皆保険
- 7.-8.働き方のオールタナティブ
- 9.-10.家事・育児・介護の社会化
- 11.-12.「家と庭（家族と世帯）」とコミュニティ
- 13.-14.最後のセーフティネット
- 15.映像からみる少子高齢社会

評価

受講態度（10点）、授業中の課題（30点）、レポート（60点）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書:独立行政法人国立女性教育会館・伊藤陽一編「男女共同参画統計データブック2006 - 日本の女性と男性」ぎょうせい、2006年

科目名	王朝文化とメディア		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会のように様々な通信手段が発達していない1000年前の王朝社会において、私たちの祖先はどのように情報を伝達していたのか、その情報伝達手段と内容について学ぶ。

王朝文化隆盛期の平安時代に、私たちの祖先は繊細で優雅な手紙の趣向を工夫し、見事なメディア文化を生み出していた。それををいくつかの古典文学を通して学びながら、現代社会と比較して考える。

私たちの祖先が育てた高度なメディアテクニックを振り返り、現代の情報化社会の中で、本当に良いメディアとは何かを考えることを目標とする。

内容

王朝時代唯一の通信メディアである手紙の種々相を、女流日記文学を中心とする作品の中から取り上げ、その作法や効果について考える。また、同時にそれぞれの作品の作者と時代についても学んでいく。

1	ガイドンス 王朝文化のメディアとは
2	蜻蛉日記 作者と作品について
3	蜻蛉日記 恋愛と結婚の文
4	蜻蛉日記 菊の折り枝
5	蜻蛉日記 様々な文
6	和泉式部日記 作者と作品について
7	和泉式部日記 恋の始まり
8	和泉式部日記 恋愛の贈答歌
9	枕草子 文具・文使いなど
10	枕草子 中宮からの文
11	枕草子 男性貴族との贈答
12	源氏物語 折り枝の贈答
13	源氏物語 風雅な趣向・悪例の演出
14	源氏物語 筋の展開に作用する文
15	まとめ

評価

平常点40点とレポート60点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】テキストはなし。授業は配布するプリントによる。

【推薦書】各作品個々の参考文献は数多くあるので、必要に応じて授業で紹介する。

科目名	美術デザイン		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

デザイン (Design) とは、視覚や触覚を駆使して自己表現し生活を豊かにする営みのことである。狭い意味の模様作りやイラスト作成とは異なる。さらにデザインは【視覚言語】としてのコミュニケーション (Communication) 媒体でもある。つまり非言語のコミュニケーション = Non Verbal Communicationとして重要な手段である。そうした日常性の中にある視覚的な効果や影響力について認識を新たにすることや、自らが受け手であり発信者であることを自覚することが本授業のねらいである。

科目の概要

また、デザイナーとしての専門教育を目的としていない。「人間にとって造形性は必要である」ということに視点をおき、形や色彩に関わる概念を再認識し、自らが造形することの喜びを体感することもねらいのひとつともいえる。既成概念からの離脱を図り、新たな造形性を発揮し造形的思考力を高められることを望む。

学修目標

作品の出来具合、うまい下手で評価はしない。自らの感覚を駆使し感じ考え行動する...という行為の過程で【視覚言語】の確かさと不確かさを実感することを目標とする。

内容

造形行動は物的な材料を媒体として実現するものである。意図的な制作や構成を行う前に、物のもつ性質や可能性を直接体験を通して感受する必要がある。そこで次のような演習から視覚的変容を体験する。

- ・錯視 (= イリュージョン Illusion) の試み
- ・コンパスで構成する試み
- ・色彩と形、その相関関係の試み
- ・立体空間表現への挑戦

などを織り交ぜながら、年間演習を通して行う。

評価

主に講義内容の理解度により判断する。作品の上手い下手での評価ではない。挑戦している演習態度も考慮に入れる。(意欲的取り組み30%、スケッチブックの内容70%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。

推薦書については時に応じて適宜授業内で紹介する。

科目名	アニメーション		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 1年次の情報処理演習を踏まえて、そこで習得したコンピュータのスキルをさらに発展させることを狙う。それゆえに、1年次の情報処理演習I,IIの単位を修得していることが必要である。

科目の概要 まず、アニメーションに対して、心理学的な考察、物理学的な考察、数学的な考察を行う。それらを踏まえた上で、サウンド、写真などを盛り込んだ、アニメーションを作成する。特に、折り紙の折り方を教える、手話を教えるなど教育的な目的をもったアニメーションを作成する。

学修目標 わかりやすく表現する方法としてのアニメーションの特性を理解する。

内容

1	オリエンテーション
2	人間に連続的に見えるアニメーションの原理について、視覚心理学的な考察を行う。
3	アニメーションにおいて欠かせないサウンドについて、聴覚心理学的な考察を行う。
4	アニメーションの技法において重要な、視聴覚の相互作用について考察を行う。
5	物理学的な考察 色、音を扱うために、その初歩を学ぶ。
6	数学的な考察 3次元空間に関する「感覚」が必要である。その感覚を養う。
7	教育学的な考察 アニメーションを作成するために、教育的に適切な分野は何か考察する。
8	ペイント系ソフトウェアの基本的な学習
9	ドロー系ソフトウェアの基本的な学習
10	映像系ソフトウェアの基本的な学習
11	映像系ソフトウェアの応用的な学習 特に画像系ソフトウェアとの関係からの学習
12	音声系ソフトウェアの基本的な学習
13	音楽系ソフトウェアの基本的な学習
14	アニメーションの作成 教育的な目標を設定し、簡単なアニメーションを作成する。
15	まとめ

評価

提出してもらったレポート、作品(15点)を、150点満点(15x10点満点)で計算し、90点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを配布

科目名	映像表現法		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

映像はテレビ、映画、インターネットなどで日常的に見慣れたものになっている。この科目では、映像を見るだけでなく、デジタルカメラやビデオカメラで自ら映像を撮影する。

撮ることを通じて映像に対する理解を深め、あわせて撮影技術の向上もはかります。

科目の概要

写真はフィルムからデジタルカメラの時代に、ビデオはハイビジョンの時代となり、ハイビジョン対応の家庭用ビデオカメラが市場に出回っています。

これらのカメラは映像表現の手段として申し分のないものです。

最近めざましい進歩をとげているデジタルの撮影機材のしくみと特性を理解し、映像表現のための便利なツールとして、使いこなそうとするものです。

学修目標

以下の4点です。

- 1、写真撮影について理解し、デジタルカメラを用いて表現する。
- 2、写真(静止画)の特長とビデオ(動画)の特長の違いを理解する。
- 3、ビデオ撮影を実践することにより、その映像表現について体験し、理解を深める。
- 4、ビデオ映像は編集を前提として撮影されていることを理解する。

内容

1	何を、どんなカメラで撮るのか
2	写真1 まず撮ってみよう
3	写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4	写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5	写真4 テーマを決めて撮る
6	写真5 デジタルで保存する
7	写真の良さ。ビデオの良さ。
8	ビデオ撮影1 ビデオカメラのしくみを理解する
9	ビデオ撮影2 長さ(時間)の要素
10	ビデオ撮影3 音を効果的に使う
11	ビデオ撮影4 アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12	ビデオ撮影5 被写体が動く。カメラとVTRが動く
13	編集の役割
14	レポートについて
15	まとめ

評価

実習 40 点、作品 30 点、レポート 30 点の合計で評価し、60 点以上を合格とする。
三分の二以上出席することで評価を受けることができます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	映像表現法		
担当教員名	岡崎 正義		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

映像はテレビ、映画、インターネットなどで日常的に見慣れたものになっている。この科目では、映像を見るだけでなく、デジタルカメラやビデオカメラで自ら映像を撮影する。

撮ることを通じて映像に対する理解を深め、あわせて撮影技術の向上もはかります。

科目の概要

写真はフィルムからデジタルカメラの時代に、ビデオはハイビジョンの時代となり、ハイビジョン対応の家庭用ビデオカメラが市場に出回っています。

これらのカメラは映像表現の手段として申し分のないものです。

最近めざましい進歩をとげているデジタルの撮影機材のしくみと特性を理解し、映像表現のための便利なツールとして、使いこなそうとするものです。

学修目標

以下の4点です。

- 1、写真撮影について理解し、デジタルカメラを用いて表現する。
- 2、写真(静止画)の特長とビデオ(動画)の特長の違いを理解する。
- 3、ビデオ撮影を実践することにより、その映像表現について体験し、理解を深める。
- 4、ビデオ映像は編集を前提として撮影されていることを理解する。

内容

1	何を、どんなカメラで撮るのか
2	写真1 まず撮ってみよう
3	写真2 シャッターチャンス、フォーカス、絞り、ポジション
4	写真3 画角(写角)、構図、光の質と方向
5	写真4 テーマを決めて撮る
6	写真5 デジタルで保存する
7	写真の良さ。ビデオの良さ。
8	ビデオ撮影1 ビデオカメラのしくみを理解する
9	ビデオ撮影2 長さ(時間)の要素
10	ビデオ撮影3 音を効果的に使う
11	ビデオ撮影4 アングルを変え、サイズを変え、多角的に
12	ビデオ撮影5 被写体が動く。カメラとVTRが動く
13	編集の役割
14	レポートについて
15	まとめ

評価

実習40点、作品30点、レポート30点の合計で評価し、60点以上を合格とする。
三分の二以上出席することで評価を受けることができます。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材は、その都度、資料として配布する。

科目名	映像論		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

映像テキストの分析方法と映像テキストの歴史を、この科目の基本的な性格としています。今年度の内容は、前期でアニメーション表現の歴史を講じ、後半で映像テキストの分析を一連の『時をかける少女』で講じます。学修目標としては、前期では映像表現の歴史に関する知識、後期では映像テキストの分析に関する知識を、それぞれ手に入れてもらいたいと考えています。

内容

前期のアニメーションの歴史では、まず映像の歴史を概観(1)し、写真と映画の誕生(2・3)について案内します。次に、アニメーションの歴史(4~14)をたどることになります。ディズニー映画(6前後)やジブリ映画(10前後)を中心に、歴史的な表現の展開、高い物語性の構築への流れを提示します。

後期のテキスト分析では、原作小説『時をかける少女』から、その映像化七作品各作品を各2回の講義で一作品取り上げて論じていくこととなります。作品だけでなく分析理論の知識を手に入れてもらいます。最初の一回目は、概説、最後の回はまとめになる予定です。

評価

平常点が五十パーセント、小テストやレポートが五十パーセント、この配分での成績評価となります。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

担当者が発表した関連図書を参考書とします。

科目名	近現代文学論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

テーマは「文学の教養A to Z」

アメリカの作家A・ビアスの奇書『悪魔の辞典』のなかから、26のキーワードをえらび、近代文化の後進国・ニッポンの姿を焙りだします。

文学者の視点に立つと、どのような世界がみえるのか。合理的な社会分析とは異なる、主観と自意識に彩られた歪んだ世界、それでいて真理を穿つ視点。社会における文学の位置づけを考えると同時に、文学者の視野から見える社会を知ること、思考の柔軟性と批評力を鍛えます。

内容

1	プロローグ：『悪魔の辞典』について
2	Ambition(野心) / Back(背中)：日本初の“近代文学”について
3	Christian(キリスト者) / Decalogue(十戒)：作家の教養について
4	Eavesdrop(立ち聞き) / Female(女性)：“小説”の起源について《その1》
5	Grammar(文法) / Habit(習慣)：“小説”の起源について《その2》
6	Interpreter(通訳) / Joss-sticks(中国線香)：輸入文化について《その1》
7	Kilt(キルト) / learning(博識)：輸入文化について《その2》
8	Multitude(群衆) / Notoriety(悪名)：通俗について《その1》
9	Oblivion(忘却) / Platitude(陳腐)：通俗について《その2》
10	Quotation(引用) / Reality(実在)：前衛について
11	Serial(続き物) / Type(活字)：メディアと作品について《その1》
12	Usage(慣用法) / Virtues(美德)：メディアと作品について《その2》
13	War(戦争) / Xanado(ザナドゥ)：論理について
14	Yesterday(昨日) / Zigzag(ジグザグ)：物語について
15	エピローグ：総括

評価

毎回のリアクション・ペーパー(50%)、学期末レポート(50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

アンブローズ・ビアス『悪魔の辞典』(角川文庫、ISBN 978-4-04-236401-6-C0197)

その他毎回の授業時にプリントを配布。

科目名	エッセイ入門		
担当教員名	星野 祐子、小柳 昇		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

なにげなく見過ごしがちな、日常の細々とした事象に目を向け、文章というかたちですくいとることを目的としています。

内容

講義1～7:「今朝の私」を書く。

作家のエッセイを鑑賞・筆写することと、実際に自分で書いてみることを、隔回ごとに繰り返しながら、文章構成の技術や、文体のバリエーションを身につけるための基礎訓練を行います。

講義8～15:自分の視点を確立する。

毎回の課題作文を通じて、他人に読ませるための文章技術を学びます。

おもに取り上げる課題は、「季節の気配」「町並み」「ピンチ」「食べる」「寝る」「歩く」など。

その他、受講者の顔ぶれに応じて対応します。

評価

毎回提出する原稿(50%)学期末作品(各50%)。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】

向田邦子『無名仮人名簿』(文春文庫、ISBN-13: 978-4167277031)

科目名	小説入門		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

小説の読解や小説の理論を学び、自身の創作に活かす。 小説を実作し、全員の作品を一冊の創作集にする。その創作集をもとに相互批評(合評会)を行う。すぐれた作品から、小説の技術や方法を学び、レポートをしてもらう。小説の理論などについても学習する。 小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて、表現能力を養う。全員が創作集に載せる作品を創作することで、創作の技法を向上させる。

内容

受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各人の創作モチーフが優れた作品として具現できるようにする。

優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業でとりあげ、その技法や理論を各自が自作に反映させるように試みる。自分自身で実際に小説を創作することを通じて、文学作品に対する読解の深化を図る。さらに、そのことが自身の創作に反映するというような、相乗的文学理解が得られるようになる。

小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り(文体)の選択などの基礎作業を踏まえた上で、実作において各自の表現技術を向上させる。

作品に対する客観的な批評尺度が身につくようになる。

評価

実際に創作した作品を提出してもらう。その後、合評会で相互評価を行う。合評会の成果をレポートしてもらう。また、文学作品を読解し、その表現技法などもレポートしてもらう。創作物の提出60%、授業への参加40%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は授業中に指示する。参考書として手軽に入手できる入門書は、中条省平『文章読本 文豪に学ぶテクニク講座』(中公文庫、2003)高橋源一郎『一億三千万人のための 小説教室』(岩波新書、2002)清水良典『2週間で小説を書く!』(幻冬舎新書、2006)岡崎宏文・豊崎由美『読まずに小説書けますか』(メディアファクトリー、2010)など。

科目名	小説の探究		
担当教員名	小嶋 知善		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-文学科国語国文専攻		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「小説入門」の授業をもとに、よりすぐれた小説を創作できるように技術を磨く。小説の読解や小説の理論を学び、自身の創作に活かす。 小説を実作し、全員の作品を一冊の創作集にする。その創作集をもとに相互批評（合評会）を行う。すぐれた作品から、小説の技術や方法を学び、レポートをしてもらう。小説の理論などについても学習する。 小説の実践的な創作実習や作品の合評を通じて、表現能力を養う。全員が創作集に載せる作品を創作することで、創作の技法を向上させる。

内容

受講者相互の発表や討議、教師による添削及び講評を通じて、各人の創作モチーフが優れた作品として具現できるようにする。

優れた 小説の書き方 を論じた著作・論考を授業でとりあげ、その技法や理論を各自が自作に反映させるように試みる。自分自身で実際に小説を創作することを通じて、文学作品に対する読解の深化を図る。さらに、そのことが自身の創作に反映するというような、相乗的文学理解が得られるようになる。

小説の執筆に必要なテーマの設定・取材・プロット構想・ストーリー構成・語り（文体）の選択などの基礎作業を踏まえた上で、実作において各自の表現技術を向上させる。

作品に対する客観的な批評尺度が身につくようになる。

評価

実際に創作した作品を提出してもらう。その後、合評会で相互評価を行う。合評会の成果をレポートしてもらう。また、文学作品を読解し、その表現技法などもレポートしてもらう。創作物の提出60%、授業への参加40%

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参考書として手軽に入手できる入門書は、島田雅彦『小説作法ABC』（新潮社、2009）岡崎宏文・豊崎由美『読まずに小説書けますか』（メディアファクトリー、2010）など。